

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕
- (2) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (4) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (6) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) 人材育成グラント〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化(主催)[アジア・大洋州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,578,828 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	韓国における日本研究調査	韓国	—	—	世宗研究所	2012.02.10 ~ 2012.03.31	各国・各地域における日本研究の動向を把握し、支援ニーズを見極めるために一定期間ごとに実施している「海外日本研究機関調査」の韓国版。平成22年度に世宗研究所への業務委託により実施したデータ収集の次段階として、既存データの修正、新規データの収集及びそれら集計データに基づき現状分析を含む報告書の執筆方針を策定するための各分野専門家とのワークショップの実施
2	第2回東アジア日本研究フォーラム&公開シンポジウム	日本	宮城郡松島町 仙台市	松島センチュリーホテル会議場 仙台国際センター会議場	財団法人仙台国際交流協会	2011.12.08 ~ 2011.12.10	東アジア地域における日本研究の更なる推進と研究者間のネットワーク強化を目的として、2011年12月8日、9日の両日、日本、韓国、中国及び台湾の研究者計26名を宮城県松島町に集めて、非公開の集中フォーラムを実施するとともに、一行が東日本大震災の被災地を視察。12月10日には仙台市内で一般公開シンポジウム「東アジアは東日本大震災をどう論じたか—東北復興へのメッセージ」を開催し、復興へのエールを発信
3	北京日本学研究センター「東日本大震災シリーズ講演会」	中国	北京	北京日本学研究センター		2011.12.09 ~ 2011.12.11	東日本大震災後の日本の状況についての正確な情報を発信するため、北京日本学研究センターに藤本隆宏(東京大学教授)を派遣し、一般市民にも公開する講演会を実施。震災の日本及び世界的なサプライチェーンへの影響・状況等について報告と展望を交えて最新の分析を紹介するとともに、パネラー等中国人研究者とも交流
4	ガバナンスと市民社会に関するセミナー(北京)	中国	北京	中国共産党中央編訳局	中国共産党中央編訳局比較政治・経済研究センター	2012.03.22 ~ 2012.03.24	日本から派遣する専門家による講演及び現地研究者等との意見交換を通じ、日本の政治・ガバナンスの制度や市民社会についての理解促進、及び参加者間のネットワークの構築を目的とし、「ガバナンスと市民社会」をテーマとしたセミナーを開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本研究巡回セミナー	ベトナム	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム国家大学 附属人文社会科学 大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文 社会科学大学	フエ外国語大学 ベトナム国家人文 社会科学センター 日本研究センター ホーチミン人文社 会科学大学	2012. 02. 26 ～ 2012. 03. 02	ハノイ、フエ、ホーチミンのベトナム3都市に 原武史(明治学院大学教授)を派遣し、「鉄道 と日本の近代」というテーマで鉄道の視点か ら見る日本の政治思想史等について講演
6	巡回セミナー「震 災復興と人々のつ ながり」	オーストラリア	シドニー メルボルン	Blake Dawson シドニーオフィス Blake Dawson メルボルンオフィ ス		2012. 02. 23 ～ 2012. 02. 24	「人々のつながり」の側面から東日本大震災 の復興を考えるセミナーをシドニーとメルボ ルンで開催。日本からは赤澤清孝(特定非営利 活動法人ユースビジョン法人代表)が、豪州か らはレスキュー隊チームリーダー、JENESYS次 世代リーダープログラム「防災と人々のつな がり」に参加した元消防士、日本研究者等が 参加
7	日本研究セミナー	米国	ホノルル	ホノルル・コンベ ンションセンター	国立公文書館 アジア歴史資料 センター	2011. 03. 31 ～ 2011. 04. 03	米国アジア研究学会(The Association for Asian Studies, 略称AAS)の70周年記念総会に て国立公文書館アジア歴史資料センターが実 施するパネルセッションに日本人の日本近・ 現代史研究者3名を講師として派遣

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 北京日本学研究センター派遣(北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 23,649,256 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	笠原 清志	立教大学教授	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究センターの教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を基金及びセンターに与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
2	畔上 和子	北京日本学研究センター日本側事務主任	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本側主任教授、派遣教授を補佐するとともに、北京日本学研究センター内の日本側事務局の運営事務を担当
3	巖 安生	北京外国語大学教授	2011.04.01 ~ 2011.06.30 2011.08.31 ~ 2013.03.31	北京日本学研究センターにおいて、「日中文化比較」の講義の一部を担当
4	荒山 裕行	名古屋大学経済学部 助教授	2011.04.17 ~ 2011.05.11	北京日本学研究センターにおいて、経済コースの講義・学生指導を担当
5	斎藤 倫明	東北大学日本語学講座 教授	2011.04.24 ~ 2011.05.14	北京日本学研究センターにおいて、日本語学コースの講義・学生指導を担当
6	久保田 美子	国際交流基金日本語国際センター 専任講師	2011.05.06 ~ 2011.05.31	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育学コースの講義・学生指導を担当
7	曾根原 理	東北大学学術資源研究公開センター 助教授	2011.06.01 ~ 2011.06.30	北京日本学研究センターにおいて、日本文化コースの講義・学生指導を担当
8	宮崎 里司	早稲田大学日本語教育研究センター 教授	2011.08.26 ~ 2011.09.14	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育コースの講義・学生指導を担当
9	藤本 隆宏	東京大学大学院経済学研究科 教授	2011.10.10 ~ 2011.10.12	北京日本学研究センターにおいて、東日本大震災をテーマにシリーズで講演会を行う
10	高橋 郁夫	慶應義塾大学商学部 教授	2011.10.10 ~ 2011.11.03	北京日本学研究センターにおいて、日本経済コースの講義・学生指導を担当
11	小島 康敬	国際基督教大学教養学部 教授	2011.10.11 ~ 2011.11.09	北京日本学研究センターにおいて、日本文化コースの講義・学生指導を担当
12	大橋 毅彦	関西学院大学 教授	2011.12.09 ~ 2011.12.31	北京日本学研究センターにおいて、日本文学コースの講義・学生指導を担当
13	庵 功雄	一橋大学 准教授	2012.03.07 ~ 2012.03.29	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育コースの講義・学生指導を担当

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究中心センター派遣(北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 3,937,310 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本側主任教授として、北京大学現代日本研究センターの教育・研究活動及び運営方針の策定・実施に関する助言を与えるとともに、同センター博士第6期生に対する「日本型イノベーションシステムの進化とグリーンイノベーション政策」科目での講義を実施
2	大場 淳	広島大学高等教育研究開発センター 准教授	2011.04.20 ~ 2011.04.23	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の教育政策：制度と運用」科目での講義
3	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2011.11.07 ~ 2011.11.10	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「災害リスクマネジメント」科目での講義
4	小松 正之	政策研究大学院大学 教授	2011.12.13 ~ 2011.12.16	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の水産業政策・水産業」科目での講義
5	吉野 直行	慶應義塾大学経済学部 教授	2011.12.28 ~ 2011.12.31	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「金融論」科目での講義
6	道下 徳成	政策研究大学院大学 准教授	2012.03.01 ~ 2012.03.03	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の外交・安全保障政策」科目での講義
7	鈴木 賢	北海道大学法学研究科 教授	2012.03.02 ~ 2012.03.07	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の法制度」科目での講義
8	染野 憲治	環境省中国環境情報分析官	2012.03.07 ~ 2012.03.10	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の環境政策」科目での講義
9	吉川 洋	東京大学大学院経済学研究科 教授	2012.03.12 ~ 2012.03.14	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「現代日本経済」科目での講義
10	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2012.03.13 ~ 2012.03.16	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本における国・地方関係と地方自治」科目の講義
11	中島 秀人	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授	2012.03.19 ~ 2012.03.22	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の技術社会」科目の講義
12	首藤 明和	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授	2012.03.27 ~ 2012.03.30	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「現代日本の社会文化・社会教育学」科目の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心招へい(北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 50,624,519 円

	事業名	氏名	現職	人数	受入機関	期間	事業内容
1	フェローシップ(博士10期)	岳 遠坤	日本語教師	1	首都大学東京 人文科学研究科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心の博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
2	フェローシップ(博士10期)	曾 艶	博士課程学生	1	早稲田大学 日本語教育研究科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心の博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
3	フェローシップ(博士11期)	傅 玉娟	博士課程学生	1	国際日本文化研究センター	2011.12.01 ~ 2013.04.30	北京日本学研究中心の博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
4	フェローシップ(博士11期)	陳 燕青	博士課程	1	神戸市外国語大学	2012.01.31 ~ 2013.03.31	北京日本学研究中心の博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
5	訪日研究(修士25期生)招へい	張 婧 他	北京日本学研究中心修士課程学生	20		2011.04.04 ~ 2011.08.02	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導
6	訪日研究(修士26期生)招へい	張 希西 他	北京日本学研究中心修士課程学生	20		2012.03.28 ~ 2012.08.01	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい(北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究センター事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 7,680,265 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	訪日研修(博士第6期)	23	2011.07.13 ~ 2011.07.27	北京大学現代日本研究センターの講座受講生(第6期博士課程20名、その他随員3名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心研究支援(北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 10,955,106 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費(教育・研究)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心が実施する紀要『日本学研究』ほか日本研究図書の出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援
2	教材等購送	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送
3	文献複写	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援
4	図書館システム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システムにかかるソフトウェア保守費を支援

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援(北京大学)

北京大学現代日本研究センターの日本研究者育成を支援する。

合計額 417,136 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京大学現代日本研究センターに対し講義用教材、図書館資料を購送

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 103,914,926 円

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
1	翰林大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	1935年から1945年の植民地時代の貴重な資料である『朝日新聞外地版』の目録の編纂・出版を支援
2	国民大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本の韓国研究機関と韓国の日本研究機関の代表者によるそれぞれの研究状況と課題、そして、共同研究の課題を探る会議を支援。更に、2010年開催の国際学術大会「朴正熙時代における日韓関係の再照明」の記録の出版を支援するとともに、日本研究図書を購送
3	高麗大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本近世文学会2011年度秋季大会の高麗大学校での開催と植民地期日本語文学に関する叢書・資料集10巻の編集・出版を支援。日本研究図書を購送
4	ソウル大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日韓の若手研究者によるワークショップ、日本から招へいした専門家のセミナー、学生の日本研修、大学院生の日本における資料調査の実施を支援するとともに、日本研究図書及び雑誌の購送を実施
5	全南大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	翻訳をキーワードに、異文化交流の視点から日韓の文化理解を目指すシンポジウムの実施とこれまで開催した第1回～第5回の国際シンポジウムの成果の出版を支援するとともに、日本研究図書の購送を実施
6	四川外国語学院	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「地域研究としての日本学～学際的な視点から～」への助成に加え、2件の出版助成と日本研究図書購送を実施
7	浙江工商大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	清末の日中交流に関する呂順長の浙江工商大学提出博士論文及び「中日戦略信頼と戦略合作」と題した2010年開催のシンポジウムの報告論文集出版を支援するとともに、「東アジアの漢籍研究－奈良を中心として－」と題したシンポジウムの開催を支援。また、専門家によるセミナー「日本歴史文化高級講習班」の開催を支援
8	中国社会科学院研究生院	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	研究生院で日本での研究を行った周傑の日本の選挙制度に関する博士論文、徐金鳳の九鬼周造に関する博士論文をもとにした書籍の出版を支援
9	東北師範大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	解学詩（吉林省社会科学院教授）、西村成雄（放送大学教授）、河東哲夫（早稲田大学教授）による集中講義の実施を支援。さらに、院生による訪日研修、学術誌『外国問題研究』及び『「偽満」歴史文化と現代中日関係[上下巻]』の出版を支援
10	東北大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	野崎勉（鹿児島大学教授）招へいによる集中講義や中国人研究者による来日調査研究に対する支援を行うとともに日本研究図書の購送を実施
11	南開大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	堀江正弘（政策研究大学院大学教授）、野島陽子（東大教授）による集中講義の実施を支援。更に、グローバル化における日本社会安定メカニズムに関する国際会議の開催、研究誌『南開日本研究』及び『東アジアモデルと地域発展－世界金融危機下の再思考－』の出版、大学院生による訪日研修の実施を支援するとともに、日本研究図書を購送
12	復旦大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	瀧井一博（国際日本文化研究センター准教授）による集中講義及び国際シンポジウム「環境問題と持続可能な経済発展」への助成、日本研究図書の購送及び2件の出版助成を実施
13	遼寧大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日中の研究者による21世紀の日中関係に関するシンポジウムの開催を支援

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
14	渡辺健基金図書寄贈	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	元外務省職員故渡辺健の遺族より託された寄付金の運用益を活用し、中国天津社会科学院に対して日本研究関連図書を寄贈
15	国立政治大学	台湾	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本からの派遣教授による日本の政治・経済に関する講義の実施を支援。国立政治大学教授、研究員が来日し、研究活動及び日本の研究機関との連携に関する調査・打ち合わせを実施。2010年度に開催した日・台の研究者によるシンポジウムの成果の出版や日・米・香港の若手研究者と台湾の若手研究者の合同研究セミナーの開催を支援。更に、日本研究に関する学会誌、研究誌などの購送を実施
16	国立政治大学(H22年度)	台湾	2011.04.01 ~ 2011.06.30	平成22年度事業として実施した図書944タイトルの購送に関し、2011年3月31日までに集荷・納品できなかった12タイトルの書籍購入経費及び左記点数を含む全944タイトルにかかる送料
17	インドネシア大学	インドネシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	大学院スタッフ経費、学生スカラシップの供与等、大学院の運営に関する支援を行うとともに、日本社会・日本外交に関して派遣教授が集中講義を実施。更に、日本の学術機関との共催によるシンポジウムの実施を支援
18	シンガポール国立大学	シンガポール	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代の東南アジア諸国における日本文化の役割について講義を実施するために専門家を招へいするほか、同テーマによる研究会議やワークショップの実施、大学院生による研究を支援
19	タマサート大学教養学部日本学科	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	修士課程の学生10名を対象とする約2週間の訪日研修事業と日本研究科の学生を対象とした講義の講師謝金を助成のほか、図書を寄贈
20	タマサート大学東アジア研究所	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「アジアにおける持続可能な社会に向けた地域協力」を助成のほか、日本研究ジャーナル発行経費を支援
21	チュラロンコン大学	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣経費と、修士課程の学生4名を対象とした約2週間の訪日研修の経費を支援
22	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「マイグレーションと多文化共生の可能性を探る」への助成と、図書の寄贈を実施
23	デ・ラ・サール大学	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「東・東南アジアにおける共同体の構築」への助成と、図書の寄贈を実施
24	ハノイ国家大学	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	研究発表会議「日本学集中講座」への助成に加え、出版助成及び日本研究図書の購送を実施
25	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学日本研究センター・日本学科	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中山富広（広島大学教授）、白石昌也（早稲田大学教授）による集中講義の実施への助成、及びシンポジウム「日本とベトナムの『文明開化』の比較研究」への助成を実施
26	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学文学言語学部	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「日本文学とベトナム文学 ―東アジアの視点から―」への助成を実施
27	マラヤ大学	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	加藤剛（龍谷大学教授）による集中講義の実施を支援するとともに、日本の企業文化及び日本の童話に関するシンポジウムの開催を支援
28	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本人専門家による集中講義の実施を支援するとともに日本研究図書の購送を実施

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
29	デリー大学	インド	2011.04.01 ～ 2012.03.31	日本研究図書の購送を実施
30	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2011.04.01 ～ 2012.03.31	豪州及びアジア大洋州地域の日本研究大学院生約20名を対象に実施する3日間のサマースクールを実施。大学院生による研究発表・討議、海外の研究者による講演会、海外の研究者による講演会、ANU及び国立図書館・国立公文書館等の研究者によるパブリックレクチャー等を開催
31	オークランド大学	ニュージーランド	2011.04.01 ～ 2012.03.31	教授1名、ポストドクター研究員1名の採用にあたっての経費、アジア太平洋地域共同体の文脈における日本・ニュージーランド関係に関するシンポジウムの開催及びその報告書の出版経費に対する支援を実施。また、日本研究図書の購送、情報提供HPへの支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究ネットワーク強化(助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 28,154,771 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	日本語文学会	韓国	2011.04.01 ~ 2011.07.02	韓国における主要な日本研究学会が共催し、事務局持ち回り方式で実施される韓国日本学連合会国際学術大会。今回が9回目の開催
2	タイ国日本研究ネットワーク	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	タイの主要大学の若手・中堅の日本研究者が中心となり2007年5月に設立された全国的ネットワークが実施するオール・タイ体制の日本研究事業。2011年は、総会開催(学会併催、2011年10月)、JSN実行委員会(年3回)、2012年総会発表者の論文募集と選定、JSNジャーナルの発行を実施
3	タイ国元日本留学生協会	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するタイの元日本留学生会の活動を支援
4	インドネシア元日本留学生協会	インドネシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するインドネシアの元日本留学生会の活動を支援
5	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2011.10.01 ~ 2011.10.31	1990年に設立された同学会は、インドネシアにおける唯一の日本研究学会であり、国際シンポジウムの開催や地方でのパブリック・レクチャー実施、ウェブサイト運営、ジャーナル発行にかかる活動経費の一部を支援
6	カンボジア元日本留学生同窓会	カンボジア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するカンボジアの元日本留学生会の活動を支援
7	シンガポール元日本大学卒業生協会	シンガポール	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するシンガポールの元日本留学生会の活動を支援
8	元日本留学生フィリピン連盟	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するフィリピンの元日本留学生会の活動を支援
9	ベトナム元日本留学生会	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するベトナムの元日本留学生会の活動を支援
10	東方政策留学生同窓会	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するマレーシアの元日本留学生会の活動を支援。マレーシアの「東方政策」により日本で留学した後、帰国した元留学生が組織する同窓会の活動を支援
11	マレーシア元留日学生協会	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するマレーシアの元日本留学生会の活動を支援
12	マレーシア日本研究協会	マレーシア	2012.02.21 ~ 2012.02.23	東南アジア各国の日本研究学会が一堂に会し、研究者に発表の機会を設けネットワークの構築、強化を行う。また、外部から基調講演者として、アジアについて多くの評論を発表している小倉和夫(国際交流基金理事長)を招へい
13	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するミャンマーの元日本留学生会の活動を支援

アジア・大洋州交流事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
14	マードック大学	オーストラリア	2011.06.29 ~ 2011.07.02	豪州、ニュージーランド、東南アジアの日本研究者を対象に、研究能力の開発と知的ネットワーク形成を目的として、19世紀後半の日本語文献を読む2日間の集中ワークショップをシドニー日本文化センターにて実施。2010年に続いて2回目の開催
15	メルボルン大学	オーストラリア	2011.07.04 ~ 2011.07.07	オーストラリアで唯一の分野横断的な日本研究者の学会であるオーストラリア日本研究学会(JSAA)の第17回総会開催経費に対する助成。総会には数百名規模の参加者が国内外から参加。セッションの一つとして「Tohoku Earthquake and Tsunami Roundtable」を実施

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(アセアン)

日本研究・知的交流分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 56,537,659 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へいプログラム(4年次)	Adiasri Putri Purbantina Hapsari, Eky Kusuma Rachmawati, Ratih Kokheng, Lim Tay, Wei Leong Mesupnikom, Nirinthon Sumonpun, Varin Hosmillo, Bernidick Bryan Punzalan Lan, Nguyen Kim Thao, Luu Bich Kho, Derek Lip Teck Lee, Lian Kim Mohamad, Siti Nurazah Binti	インドネシア大学 大学院日本地域研 究科 大学院生 パジャジャラン 大学 大学院生 ガジャマダ大学政 治社会学部 大学 院生 王立法律経済大学 講師 シンガポール国立 大学 リサーチア シスタント タマサート大学 大学院 大学院生 タマサート大学 大学院 大学院生 アテネオ・デ・マニ ラ大学 大学院生 ハノイ貿易大学 講師 ベトナム国家大学 講師 マレーシアサバ 大学 大学院生 マレーシア科学 大学 大学院生 マラヤ大学 大学院生	インドネシア インドネシア インドネシア カンボジア シンガポール タイ タイ フィリピン ベトナム ベトナム マレーシア マレーシア マレーシア	2011.07.20 ~ 2011.08.31	アジア・大洋州地域で日本研究(東アジア研究を含む)を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容	
	Htet Htet Aung	ヤンゴン大学 大学院生	ミャンマー			
	Thida Kyaw	ヤンゴン大学 大学院生	ミャンマー			
	Vongphachanh, Lindara	ラオス国立大学 講師	ラオス			
	Dutta, Gaurav	デリー大学 大学院生	インド			
	Zou, Mangson Kamlialal	ジャワハルラル・ネ ルー大学 大学院 生	インド			
	Lim, Jason Teang Huy	シドニー大学 大学院生	オーストラリア			
2	JENESYS Programme 次世代リーダーブ ログラム(K-エネ ルギー)	Li, Pengfei	中国社会科学院工 業経済研究所 工 業資源と環境研究 室副主任	中国	2011.05.16 ~ 2011.05.27	東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループKのテーマは「エネルギー安全保障：東アジアにおける地域協力の進展」
		Harahap, Aswin Rizal	PT KOMPAS Media Nusantara 記者	インドネシア		【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】
		Muhammad Arifuddin	インドネシアエネ ルギー鉱業資源省 課長	インドネシア		
		Sophy, Yim	カンボジア資源エ ネルギー省 職員	カンボジア		
		Tng, Mei Ling	シンガポール環境 庁 エンジニア	シンガポール		
		Harnnarong, Faikham	EARTH プログラム オフィサー	タイ		
		Pridasawas, Wimolsiri	キング・モンクット 工科大学 化学工 学科講師	タイ		
		Virgino, John Prado	チーム・エナジー 法律顧問	フィリピン		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Dang, Thi Ngoc Huyen	Biogas Program for the Animal Husbandry Sector 促進部門長	ベトナム		
	Le, Cam Van	ベトナム石油エネルギー会社 職員	ベトナム		
	Nguyen, Quang Thanh	NGO Live & Learn for the Environment and Community 気候変動教育オフィサー	ベトナム		
	Hamzah, Nuraniza binti	マレーシアエネルギー林業水資源省 補佐事務官	マレーシア		
	Thu, Kyaw Min	ミャンマーエネルギー省 エネルギー計画局 オフィサー	ミャンマー		
	Phithsamay, Manopaphath	ラオス鉱工業エネルギー省 電気局 電力計画課職員	ラオス		
	Chhabra, Akshay	Ministry of Power エネルギー効率局 技師	インド		
	Mahajan, Deepti	エネルギー・リソース研究所 リサーチャー兼地域担当職	インド		
	Jorgensen, Diane Clare	Geoscience Australia 地質学者	オーストラリア		
	Vivoda, Vlado	グリフィス大学 アジア研究所 リサーチフェロー	オーストラリア		
	Hyndman, Hollie Jane	ニュージーランド経済開発省 エネルギー環境グループ政策分析官	ニュージーランド		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
3	JENESYS Programme 次世代リーダーブ ログラム(L-防災)	Park, Seongjin	韓国消防安全協会 主任	韓国	2011. 11. 27 ~ 2011. 12. 09	東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループLのテーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】
		Wang, Yuelong	北京地震局 副処長	中国		
		Harianto, Tommy	インドネシア国家 防災庁 予防局職員	インドネシア		
		Kusworo, Yuli	アルコム・ジョグ ジャ プログラム・ コーディネーター	インドネシア		
		Revindo, Mohamad Dian	インドネシア大学 経済学部経済社会 研究所 研究員/ 講師	インドネシア		
		Kimhong, Prak	カンボジア防災対 策委員会 第一副 長官補佐	カンボジア		
		Intatheap, Lamphai	英字紙『バンコク ポスト』ジャーナ リスト	タイ		
		Kunavichayanont, Vipavee	NPO災害デザイン 創立者	タイ		
		Jamoralin, Christie Suyin Ceres Gajo	市民災害対応セン ター フィールド・ オペレーション部 門長	フィリピン		
		Rodil, Amillah Sescon	総合環境計画コン サルタント事務所 プランニング・ アソシエイト	フィリピン		
		Matali, Mohamad Adib	ブルネイ国家防災 管理センター 特別官	ブルネイ		
		Nordin, Mohamad Syazwan Bin	ブルネイ国家防災 管理センター 特別官	ブルネイ		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Dang, My Hanh	ケア・インターナショナルベトナム事務局 気候変動担当	ベトナム		
	Nguyen, Thanh Toan	プラン・インターナショナルベトナム事務局 気候変動専門員	ベトナム		
	Mathan, Anisha Rachel	NGOマアシー・マレーシア プログラムオフィサー	マレーシア		
	Mustafa, Mahathir Bin	マレーシア国家安全会議 区安全補佐官	マレーシア		
	Ei Ei Su Mon	ミャンマー運輸省 気象水門局 管理者補佐	ミャンマー		
	Sandar Tun	ミャンマー運輸省 気象水門局 管理者補佐	ミャンマー		
	Sithisack Xayta	国連世界食料計画 ロジスティクス補佐官	ラオス		
	Bhaswati Thakurta	コルカタ大学 ウーマンズ・スタディー・リサーチセンター 大学院生 (博士課程)	インド		
	Andrew Joseph Mcnamara	オーストラリア ニューサウス ウェールズ州消防救急署 消防救急署員 都心部捜索救命指導官	オーストラリア		
	Cameron John Tarbotton	ニューサウス ウェールズ大学 オーストラリア・太平洋津波研究センター 博士候補	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Godycki, Alicia Louise	オーストラリアビクトリア州救急サービス 地域社会教育チームリーダー	オーストラリア		
		Deirdre Brid Nagle	ビショップアクションファンデーション 上級計画管理者	ニュージーランド		
4	JENESYS Programme 次世代リーダープログラム(M-エネルギー)	KIM Hyo Jae	仁川国際空港施設 処 マネジャー	韓国	2012.03.05 ~ 2012.03.16	<p>東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループMのテーマは「エネルギー安全保障：持続可能なエネルギーシステムの構築を目指して」</p> <p>【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】</p>
		ZHANG Xing	中国国家能源局発展規制司 職員	中国		
		Budi SANTOSA	アンダラン・レカダヤ・ソーシャル・インドネシア株式会社 事業開発マネージャー	インドネシア		
		Nanang Triagung EDI HERMAWAN	インドネシア原子力規制庁 放射能設備・放射性物質規制局職員	インドネシア		
		KIN Sothea	カンボジア産業省エネルギー開発局 事務官	カンボジア		
		San SOPHAL	カンボジア産業省エネルギー総局 事務官	カンボジア		
		Vathana MOY	カンボジア環境省 気候変動局主任	カンボジア		
		Muhammad Suhaimi Bin ISMAIL	シンガポールエネルギー市場監督庁 エネルギー計画開発局産業開発課アナリスト	シンガポール		
		Kanlaya NAKLUNGKA	健康公共政策財団 研究員	タイ		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Pakorn LERTSATIENCHAI	チュラロンコン大 学社会調査研究所 研究員	タイ		
	Eduardo Dela Rosa MAGDALUYO Jr.	フィリピン大学 鉱物・金属・物質 工学部助手	フィリピン		
	Kamama Duma EDZLA	ミンダナオにおけ る独立型再生可能 エネルギー連合 学校電力供給及び 事業教育スペシャ リスト	フィリピン		
	Mohammed Emir Fadzley Bin ROSELEY	サラワク州知事局 部長補佐	マレーシア		
	NG Yeen Seen	アジア戦略リー ダーシップ研究所 上級副代表	マレーシア		
	Wint Thiri SWE	ミャンマーエネル ギー省エネルギー 計画局職員	ミャンマー		
	Sonevilay KHOUNTHAM	ビエンチャン県パ ンビエン郡エネル ギー鉱業課 次長	ラオス		
	Vannasack SATTAKOUN	チャンパサック県 エネルギー鉱業局 技師	ラオス		
	Vagish SHARMA	印米科学技術 フォーラム プロ グラムオフィサー	インド		
	Jennifer Sharyn BECKMAN	資源・エネルギー・ 観光省 オースト ラリアエネルギー 安全保障課アシス タントマネジャー	オーストラリア		
	Rikki Dominique WEBER	地球科学局 地球 科学者	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Valerie Marie-Pierre SAGE	オーストラリア連邦科学産業研究機構 リサーチプロジェクトリーダー	オーストラリア		
	Tania Joy HOOD	エネルギー効率・保全庁 地方政府アドバイザー	ニュージーランド		
	Timothy Charles TAYLOR	エネルギー効率・保全庁 復興プログラムマネジャー	ニュージーランド		
5	【2010年度事業】 JENESYS Programme 次世代リーダープログラム(J-防災)	Jeon, Inseung Ageung, Ivan Valentina Huot, Huy Leong, Chua Swee Supitax, Kanokphun Medina, Ilagan Karol Anne Villanueva, Charmaine Quintua Ampuan Haji Razid, Ampuan Noorirawati Hassan, Mohd Sarif bin	韓国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン フィリピン ブルネイ マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」をテーマに実施した訪日研修(2010年度)の報告書を作成 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Tun, Zaw Lin	ミャンマー社会福祉救済復興省救済復興局 課長補佐	ミャンマー		
	Win, Aye Nandar	ミャンマー社会福祉救済復興省救済復興局 職長	ミャンマー		
	Xaiyasarn, Ketsana	ラオス水資源環境庁水資源局テクニカルオフィサー	ラオス		
	Vyas, Nikhilkumar Rameshchandra	クルタ (CRUTA) 財団 コーディネーター	インド		
	FITZGERALD, Kate	オーストラリア司法省 アシスタント・ディレクター	オーストラリア		
	Schell, Patrick Joseph	オーストラリア・ニューサウスウェールズ州地方消防局調査企画官	オーストラリア		
	Wilson, Thomas McDonald	カンタベリー大学 災害管理講師	ニュージーランド		
6	【2012年度事業】 JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へいプログラム(5年次)	Hanif Eka Cahyono インドネシア大学 大学院日本地域研究科 大学院生 Helen Susanti インドネシア大学 大学院日本地域研究科 大学院生 Karina Utami Dewi ガジャマダ大学政治社会学部 大学院生 RAY SAREN カンボジア王立経済法科大学 日本法教育センター事務員 Sittihep Eaksittipong チェンマイ大学 講師 Barriga Maria Cynthia Batistiana アテネオ・デ・マニラ大学 大学院生	インドネシア インドネシア インドネシア カンボジア タイ フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア・大洋州地域で日本研究(東アジア研究を含む)を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供するに際し、参加者の招へい準備を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Frerrera Rose Anne Ricafrente	デ・ラ・サール 大学 大学院生	フィリピン		
	Bui Hong Hanh	ベトナム国家大学 付属人文・社会科学 学大学 講師	ベトナム		
	Tran Bach Hieu	ベトナム国家大学 付属人文・社会科学 学大学 講師	ベトナム		
	Baizura Hanim Binti Halim	マラヤ大学人文社 会学部東アジア学 科 大学院生	マレーシア		
	Khairunnisa Binti Ahmad Hamidi	マラヤ大学人文社 会学部東アジア学 科 大学院生	マレーシア		
	Wong Yii Siing	マレーシアサバ大 学 大学院生	マレーシア		
	Kyawt Yuper Aung	ヤンゴン大学 大 大学院生	ミャンマー		
	Myo Myo Thu	ヤンゴン大学 大 大学院生	ミャンマー		
	Boutsakhone Keorodom	ラオス国立大学 講師	ラオス		
	Mangboi Kipgen	ネルー大学 大学院生	インド		
	Pravhat Lama	ネルー大学 大学院生	インド		
	Shweta Kumari Sinha	デリー大学 大学院生	インド		
	Hana Habara Gleeson	シドニー大学 大学院生	オーストラリア		
	Luke James Meehan	オーストラリア国 立大学 博士課程 研究生	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 235,911,679 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	AHN, Jiwon	キーン大学 准教授	韓国	テンプル大学	2012.01.15 ~ 2012.06.14	トランスナショナル時代の映画：現代日本映画と韓国映画の比較研究
2	CHO, Jai Kook	延世大学校 教授	韓国	同志社大学	2011.05.11 ~ 2012.03.10	日本と韓国におけるキリスト教の受容に関する比較研究
3	CHOE, Songeun	徳成女子大学校 教授	韓国	奈良県立橿原考古学研究所	2011.05.11 ~ 2011.11.10	白鳳期塑像と百濟7世紀塑造仏像の比較研究 —製作及び彫刻技法を中心に
4	CHOI, Woondo	東北亜歴史財団 研究委員	韓国	長崎大学	2011.09.03 ~ 2012.09.02	日本の外交政策における自律性の評価：地域政策を中心に
5	CHUN, Chaesung	ソウル大学校外交学科教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2010.09.01 ~ 2011.08.30	北東アジアの国際関係の理論化と日韓関係
6	CHUNG, Jeong-Sook	韓国文化観光研究院 研究委員	韓国	大阪市立大学大学院法学研究科	2011.05.10 ~ 2011.08.23	高齢層の創意的文化政策研究：日本事例
7	HWANG, So Yeon	江原大学校 教授	韓国	天理大学	2011.08.16 ~ 2012.08.15	十七世紀日本の知的社会における朝鮮人儒者と朝鮮の出版物
8	IM, Heon Chan	仁済大学校 教授	韓国	広島大学	2012.02.19 ~ 2013.02.18	日韓両言語における統語構造の対応関係—日本語教育の立場から—
9	JANG, Gyung-ryul	ソウル大学校人文大学英文科 教授	韓国	東京大学	2011.06.15 ~ 2012.03.14	時調と俳句比較研究
10	JUNG, Byeong-Ho	高麗大学校日語日文学科 副教授	韓国	立命館大学文学部	2011.02.26 ~ 2012.02.25	近代初期（1890～1920）韓国における日本語文学の形成過程研究—韓国居留日本人社会の日本語新聞・雑誌を通して
11	KANG, Kun-Hyung	国立済州大学校政治外交学科 教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2010.08.30 ~ 2011.08.10	日本鳩山政権の対外政策と米日関係
12	KANG, Tae Woong	光云大学日本学科 助教授	韓国	東京大学総合文化研究科	2011.03.14 ~ 2012.03.13	東アジアの中の日本映画
13	KIM, Jaesuk	慶北大学校 教授	韓国	静岡大学人文学部	2011.08.21 ~ 2012.08.20	小山内薫の演劇観が韓国の現代劇形成に及ぼした影響に関する研究
14	KIM, Ki-Jung	延世大学校 教授	韓国	慶應義塾大学法学部政治学科	2010.09.20 ~ 2011.05.19	韓日文化的対話の東北アジア地域秩序形成における意味
15	KWON, Young Joo	ソウル市立大学校 教授	韓国	京都大学	2012.01.15 ~ 2013.01.14	町内会と地方自治

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	LEE, Seungjoo	韓国中央大学校政治外交学科 副教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2011.02.01 ~ 2012.01.31	断片化した東アジア地域主義の国内的起源 日本と韓国の比較研究
17	NOH, Suk Jae	翰林大学校 教授	韓国	一橋大学	2011.09.15 ~ 2012.03.04	東アジア3か国間における相互作用について
18	PARK, Cheun Soo	慶北大学校人文大学考古人類学科 教授	韓国	大阪大学大学院文学研究科	2011.03.01 ~ 2012.02.29	考古学から見た新羅と倭の関係への新たな照明
19	PARK, Yu-ha	世宗大学校教授	韓国	早稲田大学	2011.08.01 ~ 2012.09.02	引揚げ文学研究 — 朝鮮旧満州地域を中心に
20	SONG, Jae Hoon	又石大学校 教授	韓国	慶應義塾大学総合政策学部	2011.05.10 ~ 2012.02.29	日韓両国における企業文化の比較研究 — 葛藤(Conflict)管理の観点を中心に —
21	YOO, Chul-In	済州大学校教授	韓国	東北大学大学院教育学研究学科	2010.08.31 ~ 2011.08.31	日本の東北地方における日本人の外国人配偶者
22	CAI, Dunda	同済大学外国語学院日本学研究所所長/教授	中国	東京大学大学院	2011.09.01 ~ 2012.08.31	関野貞の中国建築・藝術踏査に関する研究
23	DU, Ying	黒龍江省社会科学院 副研究員/副主任	中国	北海道大学大学院文学研究科	2010.09.27 ~ 2011.09.26	黒龍江省における残留日本人孤児と養父母関係問題研究について — 帰国後の肉親関係を中心に
24	GUO, Mei Song	西南政法大学 副教授	中国	京都大学	2010.09.22 ~ 2011.09.21	人事訴訟手続における比較研究
25	JIANG, Bin	江西師範大学 副教授	中国	大阪芸術大学大学院芸術文化研究科	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日本仁俠映画研究
26	JIN, Mingquan	重慶師範大学文学与新聞学院 教授	中国	明星大学	2012.03.04 ~ 2013.03.03	日本文論史要一現代部分
27	JIN, Xianghai	延辺大学人文社会科学学院 教授	中国	大阪産業大学	2010.09.01 ~ 2011.08.30	中朝経済関係の進展に対する日本の政策研究
28	JING, Zhizhong	東北師範大学日本研究所日本経済研究室 助教授	中国	日本大学	2010.07.04 ~ 2011.07.03	日本のエネルギー戦略と中日合作
29	LAI, Zhengwei	福建師範大学社会歴史学院 教授	中国	琉球大学法文学部	2011.10.05 ~ 2012.10.04	閩人三十六姓と琉球に関する研究
30	LEE, Pui-Tak	香港大学日本研究部 専任研究員/名誉助教授	中国	東京大学	2011.07.05 ~ 2011.10.04	大恐慌における横浜正金銀行の海外支店活動—香港・上海・大連・ボンペイ・シンガポール・ニューヨークを中心に

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	LI, Hongxi	延辺大学 准教授	中国	名城大学	2011.06.28 ~ 2012.04.27	日本の豆満江流域開発と国際関係1904~45年
32	LI, Jicang	南京師範大学六朝 歴史文化研究中心 副主任	中国	龍谷大学文学部	2010.08.31 ~ 2011.08.31	近代日本における中国史研究-宮崎市定を中心に
33	LI, Jing	広東海洋大学外国 語学院 日本語学 科主任/教授	中国	東北大学大学院文 学研究科	2011.02.23 ~ 2011.08.22	現代日本における農家と社会-秋保町馬場村の調査を中心に
34	LIU, Chang	吉林大学 講師	中国	早稲田大学大学院 法務研究科	2012.03.04 ~ 2013.03.03	日本における食品安全規制の研究
35	Liu, Jianping	中国伝媒大学 副教授	中国	中央大学法学部	2011.11.21 ~ 2012.11.20	戦後日本の対中外交研究
36	MEI, Linhai	暨南大学日本経済 センター 教授	中国	兵庫県立大学	2012.03.13 ~ 2013.03.12	広東省工業企業の社会エコ効率の評価-日本企業の経験に関する研究
37	QUAN, Zhenan	中国延辺大学 副教授	中国	公立大学法人福井 県立大学	2011.07.20 ~ 2012.07.19	図們江地域開発と日中協力に関する研究
38	SONG, Zhiyong	南開大学日本研究 センター 副院長/教授	中国	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2011.10.05 ~ 2012.10.04	近代日本外交官の中国体験と中国認識に関する研究
39	TAN, Jianchuan	西南大学 所長/ 研究員/准教授	中国	政策研究大学院大 学	2011.10.01 ~ 2012.09.30	近代日本の政治文化：江戸末期の往来物及び近代小学校の教科書における指導者像の考察
40	TAYLOR, William Keevil (Bill)	香港城市大学 副教授	中国	東京大学社会科学 研究科	2012.01.01 ~ 2012.12.31	日本における中国の直接投資：学習及び適応
41	WANG, Chuanshi	山東大学経済学院 教授	中国	東北大学大学院経 済学研究科	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日中の食品安全とグリーンイノベーション政策
42	WANG, Jian	中国社会科学院近 代史研究所台湾史 研究室 主任研究 員	中国	慶應義塾大学法学 部	2011.07.20 ~ 2012.02.19	戦後初期台湾経済の復興と日台経済関係(1950~70年代)
43	WANG, Leina	同済大学環境科学 与工程学院 博士/講師	中国	横浜国立大学国際 社会科学研究科	2011.10.24 ~ 2012.10.23	日中公害史における水俣病に関する比較研究
44	WANG, Ping	中国社会科学院 教授	中国	早稲田大学	2011.09.06 ~ 2012.08.05	中日米の戦略の衝突と融合の過程での日本の外交安全保障政策決定の分析
45	WANG, Yeyang	中国社会科学院近 代史研究所 教授	中国	京都大学	2011.09.20 ~ 2012.09.19	東アジア共同体と民族主義問題

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
46	WANG, Yi Ming	華南師範大学 助教授	中国	東京大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	平安朝密教文献整理研究
47	WU, Donggao	延辺大學法学院 教授	中国	創価大学	2011.07.03 ~ 2012.07.02	日本の行政相談制度の特色及び中国への示唆
48	WU, Huaizhong	中国社会科学院日本 研究所 准教授/ 副室長	中国	慶應義塾大学	2011.10.09 ~ 2012.08.08	21世紀における日本の安全保障政策—日中・アジアの新安保秩序 構築との関連を兼ねて
49	WANG, Pengfei	南京航空航天大学 准教授	中国	東京農業大学生物 産業学部	2011.10.12 ~ 2012.10.11	清末日本科学書籍の翻訳と中国現代化への影響
50	YANG, Wei	四川外語学院日本 学研究所 所長	中国	法政大学国際日本 学研究所	2011.02.16 ~ 2012.02.15	多文化間アイデンティティの課題と可能性：国境を越えた詩友 —黄瀛、草野心平、宮沢賢治などを例に—
51	YIN, Xiaoliang	南開大学日本研究 院 教師	中国	早稲田大学商学学 術研究院	2011.01.15 ~ 2011.07.14	日本における省エネルギー政策及び中国への示唆
52	YU, Daiqin	中国国家話劇院 芸術委員会 委員	中国	劇団青年座 舞台芸術財団	2011.08.26 ~ 2012.03.25	『日中演劇交流史』の資料収集及び執筆
53	ZHANG, Zhihui	上海大学文学院歴史 系 専任講師	中国	大阪市立大学大学 院法学研究科	2012.03.10 ~ 2013.03.09	西園寺公望の中国意識に関する研究
54	BATSAIKHAN, Ookhnoi	モンゴル科学アカ デミー国際研究所 ロシア研究部/部 長	モンゴル	東京外国語大学ア ジア・アフリカ言語 文化研究所	2012.01.09 ~ 2013.01.08	1910年代の日露協約とモンゴル
55	CHULUUN, Dashdavaa	国家安全保障審議 会 肅清被害者名誉 回復委員会 政治肅 清研究センター センター長	モンゴル	東北大学北東アジ ア研究センター	2011.08.30 ~ 2012.06.30	モンゴルにおける日本抑留者（1945～1947）
56	SITUMORANG, Hamzon	北スマトラ大学文 学部 教授	インドネシア	東北大学	2011.06.21 ~ 2011.09.18	日本の信仰とその様式の研究
57	KATAGIRI, Kanokwan, Laohaburanakit	チュラロンコン大 学 准教授	タイ	一橋大学	2011.10.15 ~ 2012.10.14	非母語話者にとって難しい日本語コミュニケーションの実態研究
58	LEENABANCHONG, Chawin	タマサート大学 准教授	タイ	大阪大学大学院国 際公共政策研究科	2011.06.16 ~ 2012.05.15	評論：世界的危機と日本
59	NAGAI, Hiroko	アテネオ・デ・マニ ラ大学 学科長	フィリピン	静岡県立大学国際 関係学部	2011.07.01 ~ 2012.03.31	地城市民による防災コミュニティの設計及び実践とフィリピンへ の適用の可能性に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
60	UMALI, Amparo Adelina III, Cordial	フィリピン大学 ディリマン校 准教授	フィリピン	静岡文化芸術大学	2012.03.01 ~ 2012.10.31	能楽と淡路島人形浄瑠璃—これらの伝統芸能を保護する為の学界と地方自治体の取り組み
61	LE, Tam Thi Thanh	ホーチミン市国家 大学人文社会科学 大学言語学部 講師	ベトナム	東京外国語大学	2010.09.10 ~ 2011.09.09	禅の俳句とベトナムの古典詩への影響
62	TRAN THI, Hoang Mai	ベトナム社会科学 院北東アジア研究 所日本研究セン ター／情報図書館 センター所長	ベトナム	国際日本文化研究 センター	2011.06.15 ~ 2012.03.14	日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロール—ベトナム図書館への教訓
63	VU, Doan Lien Khe	ホーチミン市国家 大学 常勤講師	ベトナム	早稲田大学社会科 学総合学術院	2012.02.17 ~ 2012.09.16	16世紀における日本—ベトナムの関係・文化と貿易
64	MYAT, Thin Thin	ピー大学 講師	ミャンマー	京都大学	2011.06.16 ~ 2012.04.15	ミャンマーと日本における持続可能な農業的实践
65	SOE, Shwe	認定NPO法人「難民 を助ける会」プロ ジェクト・アシス タント	ミャンマー	東北大学大学院	2010.08.02 ~ 2011.06.01	環境評価と心理的健康に関する楽観性と悲観性の関係についての環境心理学的研究
66	TUN, Aung	ヤンゴン経済大学 教授	ミャンマー	名古屋大学	2011.06.16 ~ 2011.09.15	日本の製造会社従業員のモチベーションとパフォーマンス
67	HIRISAWA, Prabhakar	ジャワハルラル・ ネルー大学 助教 授	インド	早稲田大学	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日印関係の軌跡(2001~2010)
68	DISSANAYAKE, Kumudinei	コロombo大学 上 級講師	スリランカ	明治大学	2012.03.01 ~ 2012.12.31	非伝統的キャリアモデル：人材戦略と組織改革への影響
69	ESHAM, Mohamed	サバラガムワ・ス リランカ大学 上 級講師/学部長	スリランカ	鳥取大学	2011.03.11 ~ 2012.03.10	日本の農協とスリランカの農民企業の比較
70	KUMARASINGHE, Kulatilaka	ケラニア大学 シニアプロフェッ サー	スリランカ	崇城大学	2011.06.30 ~ 2012.04.29	日本の「能」における仏教の影響：現代スリランカ芸能における仏教概念の発展との関連
71	MELEGODA, Nayani	コロombo大学 教授/学部長	スリランカ	広島大学	2011.12.01 ~ 2012.11.30	アフガニスタン：持続的平和構築のための選択

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
72	RATNAYAKE, Mudiyanseleage Patrick Ferdinands	ケラニア大学 上級講師	スリランカ	日本大学芸術学部	2010.07.31 ~ 2011.06.30	現代映画に反映される文化的価値と革新：日本とスリランカ映画の比較
73	THAPA, Ganga Bahadur	トリブバン大学 教授	ネパール	東京大学法学部研究室	2011.01.11 ~ 2012.01.10	公の監視のもとに：日本における議会の透明性
74	TULADHAR, Nirmal Man	トリブバン大学 非常勤教授	ネパール	京都大学	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日本における仏教経験
75	MALIK, Ahmad Rashid	イスラマバード政策研究所 客員研究員	パキスタン	尚美学園大学	2010.05.14 ~ 2011.03.18	恒久的自由作戦—海運断絶作戦：日本、米国と関連地域との関係
76	HASSAN A. K. M, Yusuf	ジャハングルナガル大学 准教授	バングラデシュ	沖縄県立芸術大学	2011.08.12 ~ 2012.08.11	日本とバングラデシュとの語り物の比較研究：語り手の立場を中心に
77	AVENELL, Simon Andrew	シンガポール国立大学 准教授／副学科長	オーストラリア	国際基督教大学	2011.12.01 ~ 2012.07.31	グリーンジャパン：現代日本における環境主義の源流と展開
78	SUTER, Rebecca Marcella	シドニー大学 講師	オーストラリア	慶應義塾大学	2011.07.16 ~ 2012.07.15	近代日本文学と大衆文化におけるキリスト教の「創造的」誤読
79	WILKINS, Thomas Stow	シドニー大学 准教授	オーストラリア	東京大学	2012.03.01 ~ 2013.02.28	日本の同盟関係の未来
80	EALEY, Mark Christopher	翻訳家	ニュージーランド	T&CT Office	2011.10.01 ~ 2011.12.31	「戦禍を掘る」という長期連載記事の英訳と英文解釈

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 84,175,847 円

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
1	CHOI, Jamyung	ペンシルバニア大学史学科 博士課程	韓国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	東京帝国大学と近代日本中間階級社会の成立
2	CHUNG, Shin Young	ソウル大学師範大学共同課程 博士課程	韓国	東京藝術大学	2011.09.01 ~ 2012.10.31	1990年代以降の日本現代美術におけるサブカルチャーの影響と時代的背景について
3	HONG, Sookyeong	コーネル大学 博士課程	韓国	東京外国語大学	2011.08.15 ~ 2012.08.14	帝国日本の農村再編成と満州移民
4	JUNG, Won Sik	北京大学大学院 博士課程	韓国	岡崎研究所	2012.03.01 ~ 2013.02.28	国際関係学的な観点(政治外交と国際安全保障)から見た東アジアの海洋紛争研究(日本と中国の事例を中心に)
5	KIM, Ami	ニューヨーク大学 博士課程	韓国	慶應義塾大学	2011.01.15 ~ 2012.08.14	日本現代視覚文化と「可愛さ」の美学
6	KIM, Hee-kyoung	ソウル大学校 博士課程	韓国	東京大学	2010.06.06 ~ 2011.06.05	現代日本の地域社会における老年の社会文化構成に関する研究：長野県佐久市を中心に
7	LEE, Sangbaik	UCバークレー 博士課程	韓国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	資源依存と日本政治経済：20世紀の石炭・石油産業の事例を通じて
8	PARK, Hyun Hee	シカゴ大学 博士課程	韓国	明治学院大学文学部	2011.10.01 ~ 2012.09.30	帝国の銀幕の中の涙：戦時下日本のプロパガンダ映画における孤児、女性、メロドラマ
9	PARK, Kyungmin	ミシガン州立大学 博士課程	韓国	大阪大学大学院人間科学研究科	2011.07.01 ~ 2012.06.30	グローバル化時代の日本における「多文化共生社会」、そして地域社会の統合と社会的ネットワーク
10	SEOK, Hyang	東西大学校日本語学科 非常勤講師	韓国	立命館大学文学部	2010.05.10 ~ 2011.05.09	現代日本社会の変容と「ジェンダー・バックラッシュ」についての考察
11	YUN, Miran	仁荷大学校 博士課程	韓国	東京大学大学院	2011.06.01 ~ 2012.02.29	張赫宙の日本語の創作の多層性研究
12	AI, Jing	復旦大学国際関係公共政策学院 博士課程	中国	京都大学人文科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	冷戦後の日本におけるナショナリズムの研究
13	FANG, Yongnan	吉林大学 博士課程	中国	学習院大学	2010.10.03 ~ 2011.09.30	中国における成年監護(後見)制度の将来像
14	FENG, Hui	南京大学 博士	中国	早稲田大学文学芸術院	2010.08.29 ~ 2011.08.28	正倉院宝物を中心とした東西文化交流の研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
15	HUANG, Junliang	コーネル大学 大学院博士課程	中国	東京大学	2012.01.07 ~ 2013.01.06	戦間期の文学・映画における東アジアのモダニズム—日本と中国の比較研究
16	LI, Li Wei	中山大学中国非物質文化遺産研究センター 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2012.02.01 ~ 2012.09.30	20世紀中日演劇の相互研究及び交流—京劇と歌舞伎を例として
17	LU, Tan	中国社会科学院大学院 博士課程	中国	大阪大学大学院国際公共政策研究科	2011.07.27 ~ 2012.02.29	明治社会主義についての研究
18	LU, Xu	ペンシルバニア大学 博士課程	中国	同志社大学	2010.07.15 ~ 2011.06.30	帝国の「特使」：日本プロテスタント海外伝道者と太平洋兩岸の日本移民社会（1890～1941）
19	SUN, Shaohong	精華大学国際関係学部 博士課程	中国	早稲田大学	2010.11.11 ~ 2011.11.10	北東アジア安全協力に対する日本の発想、政策及び役割について
20	WANG, Jing	トロント大学 博士課程	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2010.08.26 ~ 2011.08.25	植民地近代性(コロニアル・モダニティ)をめぐる都市空間と日本近代文学
21	WANG, Laite	東北師範大学歴史文化学院 博士課程	中国	国際日本文化研究センター	2011.09.01 ~ 2012.08.31	17世紀後期～18世紀中期 日中貿易における政治、文化交渉—商人と地方官僚の役割を中心に
22	WU, Meng	清華大学 博士課程在籍	中国	一橋大学大学院社会科学部研究科	2011.07.19 ~ 2012.07.18	戦後、日本の経済発展に対する政局変動の影響—社会の格差構造の要素から
23	WU, Shuang	四川大学 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2011.09.17 ~ 2012.09.16	侠文化と武士道—中日近代文学新解釈
24	XIE, Zhihai	北京大学国際関係学院 博士課程	中国	日本大学国際関係学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	GHQの対日宣教政策と占領期日本におけるクリスチャンブーム（1945～1951）
25	YANG, Xiangfeng	南カリフォルニア大学政治国際関係研究科 博士課程	中国	早稲田大学政治経済学部	2010.07.01 ~ 2011.06.30	政治思想、国家の実力と日本の価値外交
26	ZHANG, Lijun	北京大学 博士課程	中国	中央大学法学部	2011.11.01 ~ 2012.10.31	日本におけるインターネット上での政治参加及び中国への示唆
27	PUREVSUREN, Naranbayar	モンゴル国家発展イノベーション委員会 職員	モンゴル	東京外国語大学	2011.09.14 ~ 2012.11.13	東アジア共同体思想の歴史的背景と現代—モンゴルと東アジア
28	SUNG, I-Te, Rita	ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校 博士課程	台湾	早稲田大学	2012.01.20 ~ 2013.01.19	現代日本と対話のポピュラー文化での「世界観」：グローカリゼーションの実行
29	SEOW, Victor, Kian Giap	ハーバード大学 博士課程	シンガポール	一橋大学大学院経済学研究科	2011.08.26 ~ 2012.08.25	「エネルギー」の帝国：中国東北における日本炭鉱、1906～1952

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
30	CHUSRI, Asadayuth	チュラロンコン大学 専任講師	タイ	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.05.10 ~ 2011.07.09	タイ人日本語学習者の独話における助詞「ネ」の機能の研究
31	JAMORNSURIYA, Winai	ナコーンラーチャ シーマー ラーチャ パット大学 講師	タイ	野上記念法政大学 能楽研究所	2010.06.01 ~ 2011.05.31	謡曲における恋の苦しみ
32	NGO, Lan Huong	ベトナム国家社会 科学院附属東北ア ジア研究所 博士 課程/日本研究セン ター副所長	ベトナム	国際日本文化研究 センター	2011.09.30 ~ 2012.05.29	日本人のコミュニケーション文化の特徴：ベトナムの断わりの言語行為と比較
33	A.KEENI, Gita	ビシュア・バラ ティ大学 講師	インド	国際日本文化研究 センター	2011.06.30 ~ 2012.06.27	女性に関する日本とベンガルのことわざの比較研究
34	BASU, Titli	ジャワハルラル・ネ ルー大学 博士課 程	インド	東京大学大学院	2010.11.01 ~ 2011.10.31	気候変動に対する企業の反応：日本の展望
35	R.PANNEERSELVAM, Prakash	ジャワハルラル・ネ ルー大学 博士 課程	インド	岡崎研究所	2011.10.25 ~ 2012.10.24	日本の海上安全保障：南アジア諸国との連携(1999~2009)
36	TENNETI, Vijay Suryakant	国立英語外国語大 学 准教授	インド	国際日本文化研究 センター	2011.01.15 ~ 2012.01.14	社会文化的理解と異文化交渉
37	KUDO, Mitsuru	オーストラリア国 立大学 博士課程	オーストラリア	早稲田大学	2011.06.01 ~ 2012.01.31	日本における大衆向け科学書の消費についての文化研究
38	LEARY, Danton John	オーストラリア国 立大学 博士課程	オーストラリア	東京大学	2011.12.01 ~ 2012.11.30	国際連盟の委任統治制度における文化人類学の役割：日豪の事例研究
39	LOVELL, Stefan James	ラ・トロープ大学 社会学部 博士課 程	オーストラリア	神戸大学	2010.08.01 ~ 2011.07.30	日本におけるマイノリティ共同体：多言語ラジオFMわいわい
40	SAITO, Kaori	オーストラリア国 立大学 博士課程 在籍	オーストラリア	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2010.12.20 ~ 2011.08.19	日本の開発援助政策決定におけるアイデアとインスティテューションの役割
41	WANG, Yuanchong	コーネル大学 博 士課程	中国	東京大学大学院総 合文化研究科	2011.08.22 ~ 2012.08.21	主権と宗藩のあいだで：朝鮮問題に関係する日清交渉 1873~1895

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 21,030,640 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HAHN, Kyungdong	韓国外国語大学校教授	韓国	早稲田大学アジア太平洋研究科	2011.05.10 ~ 2011.07.07	日本と韓国の金融経済リテラシーを中心として
2	HWANG, Jin	仁済大学校 非常勤講師	韓国	—	2011.07.19 ~ 2011.08.24	フランス象徴主義詩の日本内受容の問題及び象徴詩と口語自由詩の関連性研究
3	HYUN, Jung Hwan	ソウル神学大学校教授	韓国	広島大学	2012.01.06 ~ 2012.03.04	日本の保育所における外国籍子どもの保育への支援現況に関する研究
4	PARK, Bok Won	韓国国際大学校教授	韓国	—	2011.07.01 ~ 2011.08.27	芭蕉と孤山の自然観研究
5	CHEN, Ruiying	浙江大学城市学院准教授	中国	—	2011.07.03 ~ 2011.08.30	日中蚕糸文化の比較研究—その変遷と継承を中心に
6	CHEUNG, Wai Chun	香港浸会大学(香港バプティスト大学)准教授	中国	—	2011.11.22 ~ 2011.12.31	カリキュラムと教科書の公文書による研究：日本占領期の香港における日本の教育政策を再考する
7	FENG, Tong	北京師範大学博士課程修了	中国	島根県立大学	2011.07.15 ~ 2011.09.11	伝統文化を生かした地域づくり—無形の文化財を保護する角度から
8	HUANG, Aihua	浙江省杭州師範大学 教授	中国	早稲田大学演劇博物館	2011.09.21 ~ 2011.11.16	20世紀初頭日中演劇比較研究—新派劇、新劇及び文明新戯、歌舞伎と京劇の間の影響交流関係を中心として
9	QIN, Ying	大連民族学院日本語文化学部学部長	中国	法政大学国際日本学研究所	2011.07.18 ~ 2011.09.14	異文化理解・多文化共生としての日本研究—日本生活文化の変遷を中心に
10	WU, Chunyan	広東工業大学外国語学院 講師	中国	—	2011.07.16 ~ 2011.09.12	日本中世禅林における老荘思想の受容
11	OCHIRKHUU, Jargalsaikhan	モンゴル国大統領府 教育、科学、技術、宗教担当補佐官	モンゴル	—	2011.05.21 ~ 2011.07.18	紫式部源氏物語モンゴル語訳
12	DJOHAN, Eniarti	インドネシア科学院人口研究所 上級研究員	インドネシア	鹿児島大学	2011.06.21 ~ 2011.08.18	日本のお盆期間の「里帰り」：社会人類学的アプローチ
13	KRUTWAYSHO, Oratai	プーケットラーチャパット大学観光学部長	タイ	千葉大学	2011.10.05 ~ 2011.12.02	日本とタイにおけるグリーンツーリズムポリシーとその実践の比較研究：起業的視点

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	MI MI GYI	マンダレー大学 准教授	ミャンマー	—	2011.06.16 ~ 2011.08.13	環境保護についての比較研究：ミャンマーと日本
15	ZIN NWE MYINT	ヤンゴン大学 講師	ミャンマー	—	2011.06.16 ~ 2011.08.13	日本の都市の危険削減におけるアーバンプランニングの役割
16	GHOSH, Madhuchanda	コルカタ大学パン チュールカレッジ 准教授	インド	—	2011.09.30 ~ 2011.10.26	インドと日本：アジア太平洋地域における経済的利益の集中
17	MANGI, Lutfullah	シンド大学 教授	パキスタン	—	2012.01.13 ~ 2012.03.11	ポスト冷戦時代における日本の北東アジア政策
18	BARCLAY, Kathryn May (Kate)	シドニー工科大学 シニアレクチャ ラー	オーストラリア	東京海洋大学 海 洋科学部 海洋政 策文化学科	2011.09.01 ~ 2011.09.30	グリーン刺身・社会的に埋め込まれたサプライチェーンにおける 鮪資源の保存
19	KARLSSON, Mats Arne	シドニー大学 講師	オーストラリア	—	2011.11.01 ~ 2011.12.20	日本のプロレタリア文化運動再訪
20	JOHNSTON, Charles	オークランド工科 大学 上級講師	ニュージーランド	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2011.11.20 ~ 2011.12.24	日本人観光客をプロファイリングする：失われた日本からの声
21	WARD, Vanessa Buffy	オタゴ大学 講師	ニュージーランド	—	2011.08.30 ~ 2011.10.27	長(武田)清子とアジアにおけるピープル・トゥ・ピープルネット ワーク

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ(高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,757,000 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NGO, Lan Huong	ベトナム国家社会科学院附属東北アジア研究所 博士課程/日本研究センター副所長	ベトナム	国際日本文化研究センター	2011.09.30 ~ 2012.05.29	日本人のコミュニケーション文化の特徴：ベトナムの断わりの言語行為と比較

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 知的リーダー交流(招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 17,101,607 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	YALI, Zhang	国際連合本部 助手	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア諸国において社会的影響力を有する知識人7名が、2011年9月12日から同11月12日までの2カ月間日本に滞在。2011年度の共通テーマ「対話するアジア：思いやりある社会の創造をめざして」のもと、知的共同作業や個々の研究活動を通してネットワーク形成を図ることにより、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成。更に、課題の解決に取り組むための知的基盤作りを促進
		NAINGGOLAN, Miryam S.V.	パリフ財団 理事	インドネシア		
		SAYRE, Elmer Velasco	水、農林、栄養と 開発に関する財団 アドバイザー	フィリピン		
		VUONG, Huong Thanh	ベトナム教育訓練 省教育科学院 (VNIES) 教育情報 センター長	ベトナム		
		PERERA, Jehan	国家平和協議会 理事	スリランカ		
		GUL, Imtiaz	パキスタン安全保 障研究センター 理事	パキスタン		
		今井 千尋	元 アフガニスタ ン大使館一等書記 官	日本		

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議(助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 124,572,896 円

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
1	学術会議及びシンポジウム「東アジア文化と『古事記』・『日本書紀』」	韓国	東アジア日本学会	2011.04.01 ~ 2011.05.15	韓国における日本古代史研究の活性化をはかるため、日本から神野志隆光（東京大学名誉教授）等を招へいし、歴史、思想、人類学など個別分野を超えた学際的な観点から『古事記』・『日本書紀』を検討するシンポジウムを開催
2	セミナー「植民地期における浅川兄弟の朝鮮工芸に関する研究」	韓国	ソウル国際親善協会	2011.04.01 ~ 2011.06.30	朝鮮の伝統工芸を高く評価し、その研究を進め、「朝鮮民族美術館」を開くなど、韓国民俗・美術史研究に大きな足跡を残した浅川伯教・巧兄弟の人となりと業績をたどり、その功績を広く今に伝えようとするシンポジウムを実施
3	第4回アジア映像政策フォーラム	韓国	釜山フィルムコミッション	2011.04.01 ~ 2011.10.31	アジアフィルムコミッションネットワークに加わるアジア・太平洋地域の映像政策責任者、映画製作者、フィルムコミッショナーが一同に会し、アジアの映像産業と映像政策のあり方について意見交換を行い、相互交流と相互理解を進展させるため、国際会議を開催
4	新自由主義革命以後、日本の第三の道：格差社会の是正のための日本国家改造計画の行方	韓国	現代日本学会	2011.04.01 ~ 2011.11.30	小泉政権下の新自由主義的諸改革の推進から民主党政権の誕生に至る現代日本政治の変転を、効率的なガバナンス構造の構築と社会の均衡発展という国家改造の方向性をめぐるせめぎあいという観点からどうとらえるかをテーマにシンポジウムを開催
5	第11回日韓中制作者フォーラム IN 札幌	韓国 中国	放送人の会	2011.04.01 ~ 2011.12.01	日中韓3カ国のテレビ番組制作者約110名が参加し、作品上映、意見交換、シンポジウムなどの交流を通じて、異なる国家の歴史や背景を超え、放送が世論や文化へ影響を与え始めている今のテレビの在り方を考える国際会議。2011年9月22日～25日に北海道大学にて開催
6	東アジア気候フォーラム2011	韓国 中国	東アジア環境情報発信所	2011.04.01 ~ 2012.01.31	日中韓で検討・準備が進められている気候政策の現状について比較・検証し、「低炭素東アジア」を実現するために必要な政策と実践について議論を深め、提言の取りまとめを実施
7	東アジアの平和と民主主義—北朝鮮問題への地域協力体制：課題と展望	韓国 米国	聖学院大学総合研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	地域の主要国の安全保障や領土、資源をめぐる摩擦を踏まえ、日本、韓国、米国の朝鮮半島問題専門家が政治、経済、軍事分野などから多角的に北朝鮮を分析し、問題解決と地域安定への望ましい協力体制を探る国際会議を開催。2012年2月24日～25日に東京で実施
8	日韓次世代学術フォーラム 第9回国際学術大会(東京大会)	韓国	東西大学校	2011.04.01 ~ 2012.03.31	次世代を担う、大学院生を中心とする人文社会科学系の若手の日本人研究者と韓国人研究者が、相互の研鑽と理解を目指し、論文発表と討論を行う学術発表大会を開催
9	東アジア生命平和会議～古くて新しいエコロジー思想	韓国 インド	ナマケモノ倶楽部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本、韓国、インドの環境・平和問題を専門とするゲストとともに、「東アジアにおけるエコロジー思想」を検証・再評価し、次世代を担う若い世代を中心に、環境に負荷をかけないライフスタイル構築の一助となるようなシンポジウムを各地で開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
10	日本国際文化学会 創立10周年記念特別 シンポジウム 「戦略としての文化 と国際文化学」	韓国 中国 台湾 米国	日本国際文化学会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国と国との関係を超えた、人と人との関係を直視する国際文化学の役割を問い直すことを目的に、2011年7月1日から3日間に亘り、「東アジア共同体と国際文化学」、「グローバル化する若者文化と国際文化学」と題した国際公開シンポジウムを開催
11	アジア創造経済 ワークショップ	韓国 シンガポール オーストラリア	文化経済学会 〈日本〉	2011.04.01 ~ 2012.03.31	先進国経済において創造的な文化活動やアート活動の重要性が増していることを鑑み、創造経済論、創造都市論など、アジアにおける文化経済学への関心喚起や研究促進を目的として実施する国際会議。豪州、シンガポール、韓国からの講師のほか、論文公募による発表を実施。2011年11月27日～28日に京都にて開催
12	国際文化経済学会 京都大会	韓国 中国 シンガポール オーストラリア	文化経済学会 〈日本〉	2011.04.01 ~ 2012.03.31	創造的な文化活動、アート活動こそが、特に先進国経済において重要な産業になっているという認識の元、創造経済論、文化経済学に関する多様な研究報告と議論を重ねる国際研究大会。過去32年間、16回に亘り欧米で開催されてきたが、17回目の本年はアジアで初開催
13	「児童・青少年演 劇の可能性」につ いての国際交流プ ロジェクト—国際 シンポジウム& ショートレジデ ンス—	韓国 中国 フィリピン マレーシア バングラデシュ メキシコ イタリア ドイツ	沖縄県芸術文化振 興協会	2011.05.01 ~ 2011.10.31	沖縄市で開催されるキジムナーフェスタの中で、各国のアーティストと教育関係者を招へいし、児童・青少年をめぐる問題や平和構築に対する児童・青少年演劇の役割や可能性などについて意見交換等を実施
14	韓国外語大学校 日本語大学創立50 周年記念 国際学 術シンポジウム	韓国	韓国外語大学校 日本研究所	2011.05.13	韓国で初めて日本関係学科として創設された韓国外語大学校日本語大学の創立50周年を記念し、日韓の言語、文学、政治、経済などに関するシンポジウムを開催
15	日韓両国における 社会的企業の比較 と東アジアネット ワークの探索	韓国	韓日未来フォーラ ム	2011.05.27	現在日韓両国で注目を浴びつつある社会貢献や市民活動を行う社会的企業について、日韓双方から社会的企業の研究者、実務者を招へいし、それぞれの国における現状や課題について、現状報告や意見交換を行う会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
16	国際シンポジウム「江戸学研究の国際比較」	韓国	漢陽大学 日本学国際比較研究所	2011.08.01 ~ 2011.10.31	日本、中国、アメリカ、ニュージーランドから研究者を招へいし、韓国の研究者と「江戸時代の思想と文化」をテーマに対話の場を設け、既存の学問体系や研究手法にとらわれない新たな日本研究の地平を目指すためのシンポジウムを開催
17	第12回東アジア国際シンポジウム	韓国 中国 モンゴル ロシア	東アジア総合研究所	2011.08.23 ~ 2011.08.27	日本、中国、韓国、ロシア、モンゴルなどから学者、研究者、企業家、言論人など十数名が一堂に会し、90年代以降再度活性化している豆満江地域の開発をテーマに議論する国際会議。環境・エネルギー、物流を中心に多角的に議論し、国際関係や利害関係のからむ当該地域の開発促進のための協力課題を追求。2011年8月24日～25日に中国吉林長春市で実施
18	文化的創造性を生かしたコミュニティビジネス活性化のための日韓コミュニティ知的交流事業	韓国	希望製作所	2011.09.01 ~ 2011.10.31	コミュニティビジネスによる、文化芸術を通じた地域の活性化の方策について、日韓双方の事例に基づいて、意見交換を行う会議を開催
19	高齢者の災害及び危機予防と対応プログラム開発のための日韓交流	韓国	韓国老人総合福祉館協会	2011.11.24 ~ 2012.03.31	日本と韓国の社会が共に直面している高齢化社会における福祉サービスのあり方について、災害時の対応や自殺予防策の観点から、相互の事例をもとに検討するプロジェクトを実施
20	東日本大震災後日本研究の課題—日台会議—	台湾	早稲田大学台湾研究所	2011.12.05 ~ 2011.12.06	円卓会議とシンポジウム。2009年以降台湾の主要大学で次々と新設あるいは設置準備中の日本研究センター等の日本研究チームの代表者を招へい。非公開の円卓会議では台湾における日本研究の現状、動向の報告と意見交換が主として行われ、公開シンポジウムでは「原発震災後の日本—この国のかたち」と題し、東日本大震災以降の日本に対する現状認識と日台学術交流の課題を討論
21	韓国日本学会第84回学術大会「転換期の日本研究」—3.11以後の日本とアジア	韓国	韓国日本学会	2012.02.04	定期学術大会。韓国で最も活動歴の長い日本研究学会である韓国日本学会が年2回実施する定期学術大会のうちのひとつ。84回目となる本大会では、東日本大震災をテーマに採り上げ、転換期にある日本と韓国の日本研究の現在を確認するとともに、今後の日本の変化予想を基に新たな研究アジェンダを模索
22	東日本大震災以後の日本社会のパラダイム転換と日韓関係	韓国	日本政経社会学会	2012.02.16	2012年2月に、韓国ソウルにおいて、日韓の研究者が東日本大震災後の社会変化と日韓関係について話し合うシンポジウム
23	震災後のいま問いかけ—なぜ、『雨ニモ負ケズ』が読まれるのか	韓国 中国 米国	法政大学サステイナビリティ研究教育機構	2012.03.20	震災から一年目の節目を迎える2012年3月20日に、日本、米国、中国をはじめとする各国の研究者を招へいし、震災後注目されている宮沢賢治の『雨ニモ負ケズ』をひとつの題材として、人間が自然と向き合いながらどのように自然との関わり方を考えてきたかという精神遍歴や、アジアに広く共通する「哲学」や「思想」としての自然との融合という普遍的な価値について議論

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
24	第6回沖縄研究国際シンポジウム	全世界区分困難	沖縄文化協会	2012.03.29 ~ 2012.03.31	沖縄が近代国家が抱える諸問題を根源的に問い直す起点として重要な役割を果たしている現実に鑑み、沖縄学と隣接領域の連携を広げ、新たな沖縄学の研究領域を切り開き、沖縄学と他の地域研究との間に共有される重要な諸課題について、地域の枠組みを超えた研究者間の対話を通して明らかにする事業。米国、韓国、ロシアから専門家が参加し、2012年3月に早稲田大学にて3日間実施
25	映像から見た戦後日本セミナー—研究者と学生との対話—	中国	清華大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	戦後から現在に至るまでの日本の歴史、社会、文化を様々な角度から検討し、日本認識を更に深めることを目的とするセミナー。映像(映画)作品を教材にすることで、聴講者たちに知的刺激を与え、日本を研究の対象とする意欲を引き出し、若手日本研究者の拡充・育成も狙いの一つとする。2011年9月19日～9月23日に清華大学にて開催
26	学問分野としての日本哲学：教育と研究の現場	中国	香港中文大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本哲学の国際性、多様性への関心が高まっているものの研究者交流が確立していないことを背景に、日本、中国、台湾、香港、欧米の哲学研究者約20名が、日本哲学の研究と教育の現場におけるノウハウや課題について共有、議論する事業。2011年12月10日～11日に香港中文大学にて実施
27	「辛亥革命と東アジア」講演会とシンポジウム	中国	「辛亥革命と東アジア」実行委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中国近代化の出発点となった辛亥革命が当時の東アジア世界に与えた影響や現代に与える影響等について、国際関係、経済、文化など多様な側面から討議し、辛亥革命の東アジアにおける意義や今後のアジアと日本の関係を、辛亥革命と関連の深い福岡から展望する。市民向けの講演会(1日)、テーマ別分科会(2日間)、学術シンポジウム(1日)を2011年10月29日～30日に福岡で実施
28	世界史から見た中国社会の変革と日本—辛亥革命百年記念国際学術会議—	中国	清華大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百年を記念する国際学術会議。日清戦争から21世紀にいたるまでの中国社会の変革に焦点を絞り、そこにある日本要素の辛亥革命百年を契機に、日本、台湾、韓国及び中国大陸の専門家が一同に会し、21世紀の中国の国家としてのあり方と日中関係の行方を探る。2011年9月9日～9月10日、清華大学にて開催
29	第8回 東京-北京フォーラム	中国	言論NPO	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することをめざす継続対話事業。2012年7月に東京で実施
30	東アジアの平和の見通し：日中韓の映画像から	中国	香港理工大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	第二次世界大戦以降に日本、中国、韓国で制作された映画・ドキュメンタリーにおける、戦争や平和の描かれ方について、学際的なアプローチで分析、議論する国際会議。アジア、米国、欧州から専門家が参加し、2011年12月16日に実施
31	米国のアジア太平洋戦略の調整と中日関係	中国	上海交通大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	2010年以降の、米国によるアジア太平洋地域に対する戦略の変化とその影響、また、新たな世界情勢における日米中間の協調と協力の道と方法を探る会議。日本、中国、米国の外交専門家や学者が参加し、2011年10月15日～17日に上海にて実施
32	「東アジアの新秩序構造と日中米関係」と題する国際シンポジウムの開催	中国	中国社会科学院日本研究所	2011.04.01 ~ 2011.05.30	中国の台頭、日本政治の変化、米国の東アジア戦略、日米中の政治・安全保障・経済関係、パブリックディプロマシーなどに焦点をあてながら、3カ国の著名な学者や有識者が、21世紀に入ってからの、とりわけ世界金融危機以来の日中米関係や東アジアの新秩序構造の形成を検討する事業。2011年5月17日～18日に北京にて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
33	第1回東アジア共同体国際フォーラム—国境を越える協力と紛争の平和的な解決	中国	中山大学亜太研究院韓国研究所	2011.04.30～2011.10.31	日本、中国、韓国、東南アジア諸国の研究者、官僚、マスコミ、企業家などが参加し、東アジア共同体構築を構想するうえでの制約や障壁について、関係国間に存在する領土所有権の問題等に照らしながら検討し、平和的な解決への道を模索する国際会議。2011年7月15日～17日に実施
34	中国の戦略的意図と重大な戦略的変更：東アジア安全への影響	中国	香港嶺南大学	2011.05.01～2012.03.01	中国の外交戦略の転換およびそれが東アジア情勢に与える影響について、日本、米国を中心とした諸外国がとるべき対応について議論する事業。日本、中国、米国、英国から外交や対中国政策の専門家等が参加し、2011年11月4日に実施
35	第1回「中国・ベトナム知識人の対話と日本」	中国 ベトナム	早稲田大学中越知識人対話	2011.05.17～2011.05.20	民間対話のチャンネルが弱い中越において、日本のリーダーシップにより多国間の知識人対話の場を設けることにより、地域的な信頼関係の醸成を目指す。将来的に開発や文化を取り扱うことを前提に、まずはしばしば摩擦の原因となる歴史問題について総合的な対話を行い、各国政府への提言をまとめる
36	中国中日関係史学会とのシンポジウム開催	中国	中日関係史学会 日本日中関係学会	2011.06.01～2011.08.31	国際学術シンポジウム。長年に亘る交流相手である中日関係史学会(中国)との共催事業として、「ピンポン外交40周年記念シンポジウム～新たな日中両国の交流を目指して」(名古屋)及び「日中の戦略的互惠関係～信頼確立には何をすべきか」(東京)を開催。日米中関係、東アジア共同体、今後の日中経済交流のあり方、日中環境協力など地球規模の諸問題の他、両国文化の相互理解と共生、観光、留学生等の人的交流がテーマ
37	中国戦略互惠関係の推進に関する方法論の模索	中国	同済大学アジア太平洋研究センター	2011.04.01～2012.03.31	中日戦略互惠関係の枠組みの中で、中日協力による東アジア地域の発展や繁栄などにおいて、社会的発展の視点から研究、討論。2011年11月11日、2011年11月12日に同済大学で開催
38	東日本大震災の教訓—日中災害強力ネットワークの構築—	中国	京都大学・清華大学・中国人民大学北京シンポジウム実行委員会	2011.09.28～2011.10.27	2011年10月19日に、中国北京において、清華大学、人民大学、京都大学の共催により、「日中災害協力ネットワーク構築」をテーマに、日中両国の地震・防災・都市計画の研究者が一堂に集まり、東日本大震災から学んだ教訓を生かし、両国の災害協力ネットワーク作りを行う
39	東アジア協力フォーラム2011：東北アジア安保システムの構築	中国	中国人民大学東アジア研究センター	2011.11.05～2011.11.06	中国、日本、アメリカ、韓国、ロシア、モンゴル、アセアン諸国などからの有識者が参加、東北アジア安保の現状と問題、秩序の構造、東北アジア地域の海上紛争、地域紛争と安保システムの理論などをテーマに検討
40	世界防災研究所サミット—巨大災害の教訓から自然災害研究の新しいパラダイムを探る	中国 インドネシア マレーシア インド カナダ 米国 イタリア 英国	特定非営利活動法人 国際総合防災学会	2011.11.24～2011.11.25	京都大学防災研究所との共催により、国内外の防災研究機関の研究者が一同に会して、想定を超える自然災害となった東日本大震災や、その他の世界の大規模災害によってもたらされた研究課題や自然災害からの教訓を共有する防災研究サミットを開催。自然科学、人文・社会科学、工学等の英知を結集して取り組むべき自然災害研究の新たなパラダイムを探求

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
41	東北アジアにおける多文化共生の実態研究とその可能性—他者的視野とネットワーク構築—	中国	内蒙古大学日本学 研究センター	2010.12.01 ~ 2011.11.30	内蒙古大学日本学研究センターの設立記念にあたり、中国、日本、モンゴル、韓国から専門家、研究者、NPO関係者を招へいし、東北アジアを他者的視点から考察し、同地域における多文化共生の実態研究の展開と発展をめざす事業。2011年8月8日～10日、内蒙古自治区にて実施
42	日中災害管理・震災復興市民交流プログラム	中国	日中市民社会ネット ワーク	2011.12.09 ~ 2011.12.15	中国の震災復興関係NPO・財団関係者を日本へ招へいし、東京・仙台・登米など各地を訪問。東日本大震災の復興に取り組んでいる日本の市民社会を見学し、防災・復興関係者と意見交換を通じて、問題意識の共有、長期的な協力関係の構築のきっかけを提供
43	日本の復興と未来：震災復興における多元文化の共生と政治経済の展望	東アジア区分困難	京都産業大学 世 界問題研究所	2012.01.06 ~ 2012.01.09	台湾・東海大学学際的日本地域研究センターと京都産業大学世界問題研究所の共催により、「防災・復興」を柱に、「多元文化の共生」「自治体と住民のコミュニケーション」「経済・金融システム」「政治的リーダーシップ等の関わり」をテーマとしたワークショップ及びセッションを開催。中国、韓国、台湾、日本から30名以上の専門家が研究報告や討議を実施
44	退職者災害ボランティアシンポジウム～日本と中国の経験から～	中国	地方公務員等ライ フプラン協会	2012.02.09 ~ 2012.02.11	「退職者による災害ボランティア」をテーマに、日本及び中国のボランティア、行政関係者、住民等が参加し、両国での体験の紹介、課題の指摘、今後のボランティア活動の展開、ネットワークの構築について意見交換を実施
45	震災と価値観の創出	中国	香港教育学院	2012.03.09 ~ 2012.03.10	仙台的東北大学において、「震災と価値観の創出」をテーマとする国際シンポジウムを開催。日中のみならず、欧州や他のアジア地域からの参加者も一堂に会し、震災後の価値観の変化などについて討論。研究者同士の議論だけでなく、地元市民との対話の場も提供
46	第4回東アジアウランバートルフォーラム	モンゴル	モンゴル開発研究 センター	2011.04.01 ~ 2011.12.01	北東アジアの安全保障問題を議論する場として各国の研究者を招へいし、鉱物資源開発とその環境整備について議論するフォーラム会合の4回目。参加国は日本、中国、韓国、ロシア、カナダ、スウェーデン。2011年8月24日、25日にウランバートルで実施
47	異文化受容(モンゴルにおける日本理解を中心に)シンポジウムの開催	モンゴル	北東アジア輸送回 廊ネットワーク	2011.04.01 ~ 2012.03.31	オルホン大学(私立)に日本書籍約1万冊から成る「現代日本文庫」が創設されることを記念し、「モンゴルにおける現代日本文化の受容」及び「日本語学習と日本語図書の役割と広がり」等をテーマに国際シンポジウムを開催。同文庫の周知とともに、日本文化への理解促進を企図
48	エルデニゾー寺院—過去・未来・現在	モンゴル	モンゴル国立国際 遊牧民文明研究所	2011.06.01 ~ 2012.01.31	「世界遺産エルデニゾー寺院日本・モンゴル共同学術調査プロジェクト」の3年間の成果を総括する国際会議。同寺院の過去の復元、未来への保存方法、現在の使用状況の面から討議。日モ両国の他にロシア、ポーランドからも研究者が参加。2010年11月に日本の資金協力により同地に開館した「カラコルム博物館」の今後の運営についても議論するとともに、持続可能な文化遺産の保存活用について地域住民とともに検討
49	第1回日台アジア未来フォーラム「国際日本学研究所の最前線に向けて」	東アジア地域区分 困難	関ログローバル研 究会(SGRA) 台湾大学	2011.04.01 ~ 2012.02.28	日本、中国、台湾、韓国、米国、イタリアの研究者が、正統的な日本学をめぐる斬新な方法論の実践状況を視野に入れながら、流行文化(ポップカルチャー)に焦点を当てた議論を展開する国際会議。台湾では未だ学問として成立していない日本の流行文化の受容研究に多角的な視野を提供するもの。台湾大学文学院及び同大日本語文学系・日本語文学研究所との共同事業で、2011年5月27日に台北市で実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
50	東アジアにおけるローカル・ガバナンスの現状と行方	東アジア地域区分 困難	山梨学院大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日中韓、モンゴル、台湾などから学者、政府職員、研究者等12名が参加し、東アジア諸国の地方自治の動向と課題、地方の首長と議会との関係、住民管理と住民参加、地方財政と公共サービスなどをテーマに、東アジア諸国におけるローカル・ガバナンスの現状と行方に関するシンポジウムを実施
51	日・ASEAN対話「変化する世界・地域と日ASEAN協力」	インドネシア シンガポール フィリピン ベトナム	グローバル・フォーラム	2011.04.01 ~ 2011.12.31	近年の東アジアを取り巻く国際環境の大きな変化を背景に、日本とASEAN諸国との密接な協力関係を構築し、地域の平和と安定にいかに関与するかについて、ASEAN諸国の戦略問題研究所の関係者と日本の研究者や政策担当者間の対話の場を設けることを目的に国際会議を実施
52	インドネシア-日本ワークショップ：「インドネシアと日本の島しょにおけるトランスナショナリズムと社会変化：問題と課題」	インドネシア	インドネシア科学院人口研究所	2011.06.22 ~ 2011.06.23	インドネシアと日本の島しょにおけるトランスナショナリズムの影響と課題を取り上げる日本、インドネシア間の国際会議。両国の島しょ部の年齢別に見た人口問題や過疎化の問題、自治や地域開発の問題など、双方の状況を人類学的・法的・開発学的な観点等から比較
53	国際会議「アジア固有の視点を探る：共通点と相違点」	インドネシア	サナタ・ダルマ大学心理学部	2011.07.27 ~ 2011.07.30	アジアの視点から見た様々な分野におけるアジア研究を議論する国際会議。アジアの国々固有の概念や方法を用いた学問的スタンスを模索し、アジア共通のテーマに挑む取り組み
54	第4回「日本から学ぶ」国際シンポジウム：都市社会の脆弱性と減災への予防策 日本とインドネシアの事例から	インドネシア	インドネシア大学心理学部危機センター	2012.02.21	災害における都市部の脆弱性をいかに克服し、防災・減災に対する備えを強化するかについて、日本とインドネシアの事例を交えて意見交換を実施
55	日本文化を解析する：シンガポール社会への応用	シンガポール	シンガポール国立大学インタラクティブデジタルメディア研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本とシンガポールの研究者が、「カルチュラル・コンピューティング」という手法を用いて日本文化のエッセンスを抽出・解析し、シンガポールをはじめとする他文化への応用の可能性や課題について検討する国際シンポジウム。併せて、ワークショップ、展示会、パネルディスカッションなどを実施
56	国際会議「所有再考～幸福な社会への道筋」	タイ	チュラロンコン大学政治学部幸福学研究所	2011.05.01 ~ 2011.08.31	アジアに適した新しい幸福な社会のモデルを探ることを目的に、所有に関する概念の再検討や有機農業の可能性、情報技術の地域格差等をテーマに、日本、アジア、欧州、米国から約60名の有識者、政策決定者が、グローバル化時代における新たな生活価値観や社会セーフティネットのあり方について議論する。2011年8月25日～27日にバンコクにて実施
57	国際会議「近代化の現場～貿易、植民地主義、民族主義とアジア諸都市の変遷	タイ	チュラロンコン大学東アジア研究所／文学部歴史学科	2011.08.01 ~ 2011.12.31	アジアの主要な港町・都市に焦点をあて、貿易、植民地主義、ナショナリズムの観点から、18世紀から現代までのアジアの近代化について、アジア独自の視点で問い直す国際会議。アジア大洋州地域から12名の専門家が参加し、2011年7月21日～22日にバンコクにて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
58	環境・コミュニティの防災・復興ワークショップ	フィリピン	フィリピン地域開発協会	2011.04.01 ~ 2012.02.28	地域単位で災害対策のあり方を考え、「防災文化」を地域に根付かせることを目的に、日本、インドネシア、ネパールの専門家を招へいし、フィリピンのソーシャル・ワーカー等を対象に防災教育に関する指導者育成ワークショップと、成果を地域に還元する地域ワークショップを実施。2011年7月から11月にかけて、ビサヤと南ルソン地域で実施
59	第2回アジア児童博物館会議：環境保護と気候変動を考える	フィリピン	ミュゼオ・パンバダ財団	2011.05.01 ~ 2011.11.01	子供の啓発や教育活動に携わっているアジア、米国、ヨーロッパの専門家や児童博物館のキュレーターが一堂に会し、環境保護や気候変動等のグローバルな課題について、どのように子供の能力開発を行うべきかについて、国際会議や視察を通して考える。2011年9月から11月にかけての4日間、マニラで実施
60	よみがえる場所：文脈を越えて伝えること(アート教育を学び、考える)	フィリピン	パナナウ・ナンシニン・ナン・パヤン	2011.06.01 ~ 2012.03.31	アジア各国及び英米から芸術教育に関する専門家を招へいし、まだ研究の進んでいないアジアにおける現代美術の教育理論や手法、現代美術の扱える様々な社会課題について議論する国際会議。2012年2月23日～25日に、ケゾン市ならびに周辺の芸術施設で実施
61	KAPWA(先住民会議)3:教育における地域固有の知恵の活用―「近代知」と土着の「民間知」をつなぐ	フィリピン	フィリピン芸術と遺産学会	2011.10.01 ~ 2012.03.31	環境破壊、貧困、自然災害などの全人类的課題を前に、アジアで受け継がれてきた伝統知や民間知を再評価し、新しい時代の共存のあり方を探る。国内外の伝統文化継承者間のネットワークの構築や強化、伝統文化の継承を目的としたシンポジウムやワークショップ、一般への啓発を目的とした映画上映や展示事業を含む複合的事業
62	災害からの回復力、社会的包摂と持続可能性：日本、インドネシア、フィリピンの大地震に学ぶ	フィリピン インドネシア	シカイ・キロス開発協会	2012.02.23 ~ 2012.02.24	日本、インドネシア、フィリピンから減災や災害危機管理の関係者約100名が一堂に会し、3カ国における災害状況の情報交換、災害への備えや復興への取り組みに関する経験の共有、災害という視点から開発事業が直面する諸課題について議論。フィリピン大学にて実施
63	東南アジアにおける教育技術の社会価値：カンボジア、日本、ラオス、ベトナムとの知的交流会議	ベトナム	東南アジア教育大臣機構地域訓練センター	2011.05.01 ~ 2011.11.30	2011年10月26日～10月28日、ホーチミンにて開催される国際会議。日本、カンボジア、ラオス、ベトナムの4カ国の専門家が一堂に会し、K-12(幼稚園から高校卒業までの教育期間)における教育技術の採用に対する社会的な規制や課題について討論。「教育テクノロジー」を率先して採用している日本の知見を発信し、それらがいかに東南アジア諸国の教育システムに融合し得るのか、その課題とプロセスを探り、共有し合う
64	「フィールドワークの知と人間科学」国際ワークショップ	ベトナム	ベトナム社会科学院北東アジア研究所日本研究センター	2011.05.01 ~ 2011.12.30	伊藤哲司(筑波大学教授)を講師として招へいし、人間科学の概念やフィールドワークを通じた研究方法論等を集中的に紹介する10日間のワークショップ。日本研究も含めて、参加者の人間科学への理解、研究レベルの底上げを図る。2011年9月6日～17日に実施
65	第25回アジア太平洋ラウンドテーブル	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2011.04.01 ~ 2011.09.01	アジア太平洋地域における安全協力の強化をテーマに、経済危機や人間のwell-beingに開発が果たす役割などに焦点をあてて議論を実施
66	第26回アジア太平洋ラウンドテーブル	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア太平洋地域における安全協力の強化をテーマに、経済危機や人間のwell-beingに開発が果たす役割などに焦点をあてて議論を実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
67	アジア共生学会国際シンポジウム	インド スリランカ	アジア共生学会	2011.04.01 ~ 2011.11.30	インド、スリランカより、パネリストを招へいし、日本、韓国、インド、スリランカの事例をもとに、他民族共生社会の形成に関するシンポジウムを開催
68	山岳地帯におけるグローバリゼーションと文化について	インド	シッキム大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ヒマラヤに焦点を当て、中国、バングラデシュ、ネパール、ミャンマー、ブータン及び日本から専門家を招へいし、グローバリゼーションが山岳地帯の伝統文化に与える影響や、共存の可能性について議論する国際会議。2011年10月12日～14日にシッキム大学にて実施
69	野口米次郎、石川啄木、ラビンドラナート・タゴール、S・V・アッゲー：日印交流における先駆者たちの知られざる世界	インド	インド日本文学文化協会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	インドが誇る詩聖ラビンドラナート・タゴールの生誕150周年、100周年祝賀にちなんで、日本の詩人等との知的交流の足跡をたどり、両国の文学交流の可能性を探る会議を実施
70	2011国際啄木学会盛岡大会	インド	国際啄木学会	2011.11.03 ~ 2011.11.08	被災地である岩手県で、石川啄木の言葉「新しき明日」にならない、講演やパネルディスカッションを通じて震災復興を支援する事業
71	21世紀の南アジアにおける平和と安全の展望：日本の役割	バングラデシュ	バングラデシュ国際戦略研究所(BIISS)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	南アジアの安全保障を担う機関の発展に関し、議論を実施
72	東洋演劇研究に向けて	バングラデシュ	ジャハンギルナガル大学	2011.07.01 ~ 2012.03.31	バングラデシュ、インド、日本の伝統舞台芸術ワークショップ、シンポジウムにおける基調講演、舞台伝統に関するビデオ放映、東洋演劇研究に関する討論、バングラデシュ伝統舞台芸術公演を実施
73	第10回国際家族看護学会における、アジア各国の家族看護専門家の招へい及びセッションの開催	アジア地域区分困難	日本家族看護学会	2011.04.01 ~ 2011.06.30	世界各国から家族看護実践者、教育者、研究者が集まり、各国における家族看護の経験や課題を共有する国際会議「家族看護の可視化」を実施する。アジアからはタイ、中国、韓国、香港、インドシナ諸国から6名が参加し、2011年6月24日～27日に京都国際会議場にて実施
74	アジア子どもの権利フォーラム2011	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人子どもの権利条約総合研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア全ての国が批准・加入している国連子どもの権利条約を共通の理念及びツールとして、子供の貧困対策や暴力防止、あるいは参加促進等今日的な課題に対応するため、アジア各国の研究者・専門家の参加のもと、「アジア子どもの権利フォーラム2011」を開催。2011年11月20日～21日に東京で実施
75	日本の経済と科学技術の将来	オーストラリア	モナシュ大学	2011.04.01 ~ 2011.05.31	日本の経済と科学技術の現状と課題について、日本、中国、マレーシア、インドネシアより研究者を招へいするとともに、オーストラリアの研究者、ビジネス関係者を交えたセミナーを開催。日本からは、高橋豊治(中央大学教授)、永野博(総合政策大学院大学教授)を招へい

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
76	敗戦前後：占領国/被占領国としての日本1945年を超えて	オーストラリア	ウーロンゴン大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	1945年で戦前・戦後に区分されがちな歴史を見直し、占領者としての日本と非占領者としての日本を一体的に捉え直すことを試みる研究会議。発表者等は日豪の研究者を中心に17名程度、ワークショップ形式で実施。成果はRoutledgeから出版
77	日豪対話とワークショップ：日豪関係における相互理解のために	オーストラリア	グリフィス大学	2011.06.01 ~ 2012.10.31	日豪関係の将来や共通の課題について、学者、政治家、官僚等が集まって討議を行うレクチャーとワークショップ。各国より20~25名の専門家が参加
78	第28回豪・NZ建築史協会年次総会	オーストラリア	クイーンズランド大学	2011.07.06 ~ 2011.07.09	クイーンズランド大学が主催する「第28回豪・NZ建築史協会年次総会」において、戦後日本の建築文化をテーマとして日本からゲストスピーカー2名を招へいして、基調講演及びパブリックレクチャーを開催
79	女性たちの戦い：雑誌『女人芸術』(1928~1932)	オーストラリア	シドニー大学	2011.07.08	昭和初期に刊行された『青鞥』の流れを汲む雑誌『女人芸術』の果たした役割につき検証するプロジェクト。豪州日本研究学会(JSAA)でのパネル開催、シンポジウム、及び展覧会を実施。成果は英国の学術ジャーナル『Japan Forum』に掲載
80	東南アジアにおけるオーストラリアと日本の戦争とその和解	オーストラリア	シドニー大学	2011.09.30	第2次大戦期の東南アジア地域における日本とオーストラリアの戦争と、戦後占領期、その後の和解をテーマに、一次資料と文学作品の収集・分析を通じて、戦争当事者の「個人的経験」の視点から、戦争が与える心の傷と戦後の和解・平和構築の可能性について分析する事業。3カ年計画プロジェクトの1年目
81	太平洋地域における平和構築のモデルとしての民族文化産業の育成—日本・バヌアツ外交関係30周年を記念して	オーストラリア	サザンクロス大学	2011.11.04 ~ 2011.11.12	人類学的な観点からの文化保存と、経済的な観点からの産業の育成の両立をどう実現していくかを検討するプロジェクト。特にバヌアツの音楽を取り上げ、日本、豪州、フランス、ニュージーランドの専門家によるシンポジウムを開催
82	日本の歴史ワークショップ2011	オーストラリア	マードック大学	2011.11.30 ~ 2011.12.02	13大学から26名の歴史研究者が参加して、日本史に関する3日間のワークショップを開催。豪州、ニュージーランド、香港、シンガポールの研究者に加えて、米、英、日本からゲストスピーカーを招へいし、研究発表を行うと共に、研究者間のネットワーク化を図る。博士課程の大学院生の研究発表も実施
83	日本の躍動期：1960年代の文化芸術に関する国際会議	オーストラリア	メルボルン大学	2012.01.25 ~ 2012.01.28	1960年代を学際的に見直し、現代の「クールジャパン」につながる日本文化の革新的な側面の基礎を築いた時代として考察する国際会議。日豪米独から7名の研究者を招へいして会議を行うと共に、研究者が講師となって大学院生を対象としたゼミを実施
84	災害防止及び災害管理に関する日本法社会規範：アジア・大洋州と学際的な観点から	オーストラリア	シドニー大学法学部	2012.03.01 ~ 2012.03.02	2011年3月に発生した大地震・津波(自然災害)と原発事故(人口災害)に焦点を当て、防災と災害マネジメントについて、社会、経済、及び政治的な文脈を踏まえた上で、法社会規範の観点から検証を行うプロジェクト。2日間の国際会議でアジア・大洋州地域及び米国から様々な分野の専門家を招へい
85	辛亥革命百周年記念日本会議	全世界区分困難	辛亥革命百周年記念日本会議組織委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百周年にあたり、これまでの日本における辛亥革命及び関連研究の蓄積や動向を回顧しつつ、あらためて同革命の歴史的な位置づけや日本への影響を、内外の研究者を広く招へいして検討する会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
86	辛亥革命100周年記念国際シンポジウムーアジア主義・近代ナショナリズム	全世界区分困難	特定非営利活動法人日中学術交流センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百周年を記念して、中国、台湾、アメリカ、フランスから研究者を招へいし、シンポジウムを開催

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議(企画参画助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,768,533 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	東アジアの平和・ガバナンス・発展についてのEAIフェローシッププログラム(2011～2012)	韓国	東アジア研究院	2011.12.01 ～ 2012.03.31	フェローシップ型知的交流事業。米国をはじめとする非東アジア諸国の研究機関に所属する専門家5名に対しフェローシップを供与。対象者は東京、ソウル、北京、上海、台北の5都市のうち2都市以上に3週間以上滞在して研究を進めるとともに、受入機関において講演会やワークショップ等を実施。最終的な成果として論文を提出し、審査を受けて公刊
2	国際共同研究：アジア地域における「人間の安全保障」への新しいアプローチ	中国 オーストラリア	オーストラリア国立大学	2011.04.01 ～ 2012.03.31	アジア・大洋州地域において、「人間の安全保障」政策に対する「狭義」及び「広義」のアプローチがいかに調整され、地域的な特性をもって実施されているかを検討する国際共同研究・会議の3年目。ワークショップ形式で、豪州、日本、中国、韓国、英国、フィリピンから計19名が出席。9月20日～21日、上海の復旦大学にて実施
3	第7回 北京－東京フォーラム	中国	言論NPO	2011.04.01 ～ 2012.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することを目指す継続対話事業。今回は、尖閣諸島問題を契機に高まっている両国の対立関係、人口減少や高齢化、外交・安全保障等について議論。2011年8月下旬に北京で実施
4	東日本震災後の日本政治・外交の行方と中日関係	中国	中央党校国際戦略研究所	2011.09.01 ～ 2012.02.29	日中の研究者・知識人を北京に招へいし、「東日本大震災後の日本政治・外交の行方と中日関係」をテーマに討論。成果は機関誌『学習時報』や新華社通信ニュース(インターネット)などで公表
5	国際円卓会議シリーズ「東日本大震災とその後」	中国	日中社会学会	2011.09.01 ～ 2012.03.31	日中社会学会と北京日本学研究中心が共催する一般公開型の円卓会議。阪神大震災(1995年)、四川大地震(2008年)、東日本大震災(2011年)における災害・復興・防災の日中比較、両国社会のさまざまな担い手に着目しながら、特に社会関係資本(信頼・規範・ネットワーク)の役割や、国際化社会での危機管理について新たな知見を提供
6	第8回東京－北京フォーラム事前協議	中国	言論NPO	2012.03.01 ～ 2012.03.31	平成24年度に日中国交正常化40周年を記念して開催する「第8回東京－北京フォーラム」にて、両国民の真の相互理解に支えられた日中関係を築くための対話実現に向け、「東京コンセンサス」を発表するにあたり、提言の発信に向けた事前協議のため、北京にて準備会議を実施
7	リークアンユープリク政策大学院院生訪日研修	シンガポール	シンガポール国立大学リークアンユープリク政策大学院	2011.04.01 ～ 2012.03.31	シンガポールのみならず、アジア各地から次世代を担う学生や実務家が集まるリークアンユープリク政策大学院在学生の内、国際関係論等を専攻する15名程度を10日間程度招へいし、対日理解を喚起・促進するとともに、日本の院生・若手研究者など次世代の知的リーダーとのネットワークを形成
8	第3回イスラム女性指導者会議	フィリピン	フィリピン民主化のためのフィリピン評議会	2011.11.01 ～ 2012.01.31	ミンダナオの平和と復興を目指し、アジアを中心とする国内外のイスラム女性知識人のネットワーク形成と平和活動に向けた能力開発のための国際会議を実施。2011年12月5日～8日に、ダバオで実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	現代における中国人の移住：東南アジアと日本のケース	フィリピン	東南アジア研究地域交流プログラム	2011. 11. 01 ～ 2012. 10. 31	今後の東南アジアの経済発展及び人の移住の観点から、マレーシア、ベトナム、日本における華僑に関する事例研究を実施するとともに、シンガポール、フィリピン、ミャンマー、ラオス、韓国についても文献研究を実施
10	タゴール生誕150周年記念事業	インド	タゴール生誕150周年記念会	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	タゴール生誕150周年にあたり、タゴールの設立した学園都市「ジャンティニケタン」より有識者を招へいし、タゴールが文化・芸術活動を通じて主張してきた「自然との共生」「東西の融合」「平和」等の精神哲学について振り返るとともに、タゴールの現代的意義—精神文化と現代の物質主義—について再考する国際会議
11	アジアの文化的創造的産業：共同調査プロジェクト、交流プログラム	インド	文化社会研究センター	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	アジアの文化産業について、日本、韓国、台湾の共催者ととともに、文化創造的産業が経済にもたらす効果に関して協同研究をするるとともに、インターアジア文化学会(ダッカ)における発表、学生及び教員の交換留学、インターネット上における博士課程講義の実施などを総合的に行う事業
12	地球の環境変化に関するオープン・サイエンス国際会議	インド	マドラス大学応用地質学部	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	世界的に関心の高い地球環境変化に着目し、インド内外から分野横断的に200名近い科学者、学術研究者、政府関係者、市民団体等が参加する国際会議。今回は3月の東日本大震災に関する特別セッションが設けられる。日本からは京都大学、神戸大学、東京工芸大学等から専門家や学生が参加し、東北の経験や復興の取り組みを共有
13	パキスタン部族地域安定のための政策提言研究	パキスタン	NPO法人現代イスラム研究センター 部族地域研究センター(FATA Resresearch Center)	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	過激派の活動を生んできた部族地域が抱える社会・経済的な構造問題、あるいは社会・経済的矛盾の改善のために日本など国際社会ができる貢献等について、パキスタン・イスラマバードにある部族地域研究センター(FATA Research Center)とNPO法人現代イスラム研究センターが共同研究を行い、日本、パキスタン政府、国際社会に向けて政策提言を実施
14	ABU(アジア太平洋放送連合)メディア関係者による津波ワークショップ	大洋州地域区分困難	NHKインターナショナル	2011. 08. 20 ～ 2011. 08. 21	2009年の南太平洋津波の被災国であるトンガ王国と協力し、今回の東日本大震災で甚大な被害をもたらした大津波災害の体験と復興の過程をアジア・大洋州諸国と共有し、災害時の緊急報道や防災活動に果たすメディアの役割について議論するワークショップを、8月20日～21日、パプアニューギニアにて実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議(主催) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 41,458,338 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓多文化共生セミナー	韓国	韓国多文化共生学会	2011.04.01 ~ 2011.08.31	日本や韓国では、外国人住民の多い自治体を中心に、国籍や民族等の異なる住民が共に生きていく地域づくりを進めるために「多民族共生」や「多文化社会」という観点から様々な政策が進められているが、欧州では、新しい都市政策として「インターカルチュラル・シティ」の考え方が注目されている。本セミナーは、特に地域住民の多文化理解、住民と外国人との間の異文化交流への努力をどのように維持していくのかについて、欧州の「インターカルチュラル・シティ」に基づく取組みを参考に、日本や韓国の都市のあるべき姿を探ることを目的としたもの。当初2011年3月に実施予定であったが、東日本大震災の発生により延期。内容を一部拡大した上、平成23年度に「日韓欧多文化共生都市セミナー」として2011年8月19日にソウルにて開催
2	日中韓文化交流フォーラム	韓国 中国	韓日文化交流会議 中日友好協会	2011.09.20 ~ 2011.09.23	東北アジア地域における民間主導の文化交流を積極的に支援・展開し、同地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的に、2005年から毎年日中韓3カ国持ち回りで開催されているフォーラム。第7回となる2011年は、韓国の慶州において「災害と文化」等をテーマにフォーラム開催を行い、関連文化イベントとして3カ国の若手芸術家が参加する公演も実施
3	日中韓次世代リーダーフォーラム 10周年記念フォーラム	韓国 中国	韓国国際交流財団 中華全国青年連合会	2012.03.27 ~ 2012.03.29	毎年、日中韓3カ国の次世代リーダーとして選ばれた各国6名(政治家・官僚・財界人・学者・メディア・NPO)が集まり、10日間で3カ国を回りつつ勉強・討論・意見交換などを通じて相互理解とネットワークを築くプログラム。 本年は本事業の10周年を記念し、3カ国の過去8回の参加者により、今後の日中韓関係を議論するフォーラムを実施
4	日中知的交流強化事業(個人招へい)	中国	東京大学 他	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本に滞在した経験の少ない中国の若手・中堅の知識人及び研究者を日本に招へいし、日本社会・文化などに触れる機会を提供することで、日本についての理解を促進する。また、日本人研究者、専門家等との交流・対話などを通じて個人的な関係を築くことにより、将来的な日中間の知的ネットワークの構築を目指す
5	日中知的交流強化事業(グループ招へい)	中国		2011.04.01 ~ 2012.03.31	これまで日本と接点がなかったが、対日理解・関心を促すことに長期的な効果が期待される知識人を中国から招へいし、同分野の日本人研究者・専門機関とのネットワーク形成をはかることで、日本に関する正確な情報の発信、持続的な知的ネットワーク構築及び知的交流の進展への貢献を目指す
6	震災復興に関するセミナー	インドネシア	ルジャック都市研究センター	2012.02.01 ~ 2012.02.04	日本より専門家1名を派遣し、ジャカルタにて震災復興に関するセミナーを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
7	東南アジア文化と紛争シンポジウム	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス ドイツ	ゲーテ・インスティトゥート・バンコク バンコク芸術文化センター(BACC)	2011.07.17 ~ 2011.07.20	2011年7月18日及び19日にかけて、「文化イニシアティブを通じた紛争の考察：東南アジアの視点から(Reflecting Conflicts through Cultural Initiatives: Perspectives from Southeast Asia)」と題した国際シンポジウムを開催
8	東南アジア若手イスラム知識人グループ招へい	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア		2011.11.24 ~ 2011.12.03	東南アジア諸国の若手イスラム知識人を日本に招へいし、日本が歩んだ近代化の過程を紹介しながら意見交換を行い、ネットワーク構築をはかる事業
9	地震ITSUMO	タイ		2011.04.01 ~ 2012.03.31	阪神淡路大震災の経験や教訓を元に展開されてきた日本の防災への創造的な取組みのひとつである「地震ITSUMO」プロジェクトをタイ・バンコクにおいて紹介
10	震災復興に関するセミナー(ベトナム)	ベトナム	ホーチミン市人文社会科学大学	2012.03.08 ~ 2012.03.13	日本より専門家を2名派遣し、ハノイ、ホーチミンにて震災復興セミナーを実施
11	震災復興に関するセミナー(マレーシア)	マレーシア	Malaysian Association of Japanese Studies (MAJAS) マラヤ大学 Universiti Sains Malaysia	2012.03.12 ~ 2012.03.15	日本より専門家1名を派遣し、クアラルンプール、ペナンにて巡回型の震災復興セミナーを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
12	日印文明対話	インド	国際文化会館	2011. 11. 01 ~ 2012. 03. 31	日印平和条約の締結から60周年を迎える平成24年を好機ととらえ、日印の知的交流の強化および再構築をめざし、従来、交流や対話の場が限られてきた両国の有識者を対象とした交流事業を、23年度から複数年計画で実施し、継続的な対話の場を創出。平成23年12月5日・6日に日印の専門家による企画会議及び公開シンポジウムを東京で実施
13	震災復興に関するセミナー	インド	ジャワハルラル・ネルー大学	2012. 03. 14 ~ 2012. 03. 18	日本より専門家1名を派遣し、インド・ネルー大学の「キズナ強化プロジェクト」の一環として震災復興に関するセミナーを実施
14	スリランカ文化と平和構築事業	スリランカ		2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	「文化と平和構築事業」の一環として、LTTE(タミル)の壊滅、政府軍(シンハラ)による勝利宣言により内戦が終結したスリランカにおいて、両派の和解と信頼醸成のための事業を実施。日本への招へいという文化交流を媒介としてシンハラ・タミル両者の対話チャンネルを形成することを目的に、第3国である日本に芸術家・知識人などを招へい
15	東日本大震災に関する映像作成	全世界区分困難		2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	東日本大震災に関する良質なドキュメンタリーやニュース映像を素材とした映像資料(DVD)を制作し、海外の日本研究機関等に寄贈。教材等として活用してもらうことで、日本と諸外国の相互理解の更なる促進につなげる

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 14,268,350 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	城下町金沢における国際建築都市デザインワークショップ	韓国 中国 ベトナム イタリア フランス	城下町金沢国際ワークショップ実行委員会	2011.06.08 ~ 2011.06.18	本事業は、歴史的建造物が点在して残りつつ、文化的資源が活用されていない地域(金沢市・下新町周辺)を対象にし、城下町としての都市文化を持つ金沢の国際的な位置づけを明確にするワークショップを行う。参加校はイタリア、ベトナム、中国、韓国、フランス、日本。各校から教員と学生が金沢を訪れ、地元金沢周辺の大学の学生と共同で都市文化の価値を理解・分析し、空間提案と多様な主体が議論する場づくりの仕組みの提案を実施
2	LEAFフォーラム2011韓国セッション	韓国 中国	LEAF日本実行委員会	2011.07.31 ~ 2011.08.07	日本、中国、韓国の大学・大学院から選抜された参加者が、韓国における7日間の共同生活とフィールドワークを通じてリーダーシップを学び、将来にわたる絆を深化させるとともに、東アジア地域の課題に対する解決策を提示
3	2011年アジア法学生協会フォーラム	韓国 中国 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ マレーシア バングラデシュ	アジア法学生協会 ジャパン	2011.08.04 ~ 2011.08.10	アジアの更なる地域的協調と発展の促進という共通の目的意識を持ち、アジア法学生協会全加盟国・地域の学生が一堂に会し、政治や国家の枠組みにとらわれないという学生の強みを生かした学術・文化交流、全体総会などを行う。この事業を通じて参加者はアジアの多様性に触れ、議論を通じ繊細な事情をはらんだアジアの諸問題解決への道を探るとともに、国境を越えた交友関係を結び、今後、世界で活躍する上で必要な素養を実践的に学習
4	日韓友好交流ボランティアワークキャンプ	韓国	特定非営利活動法人グッド	2011.08.18 ~ 2011.08.30	韓国・江原道原州市の農村にて、日本人と韓国人の若者が協力して農作業などの村の仕事の補助作業を体験。更に、韓国の伝統音楽プンムルを地域住民から教わるなどの文化体験プログラムも行うキャンプ。村での共同生活、共同作業を通じて日韓の若者の成長と相互理解を目指すと共に、日韓の若者と地域の人々との交流を図る事業

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
5	アジア獣医学生交流プログラム	韓国 インドネシア シンガポール タイ マレーシア	日本獣医学生協会	2011.08.22 ~ 2011.08.26	アジア地域の獣医学生が交流を通じて相互理解と広い知見の獲得を目的とするプログラム。文化交流や震災に関するワークショップなども取り入れ、国際ネットワーク形成に向けて連携を深化
6	第2回日中韓ユース・フォーラム	韓国 中国	財団法人日本国際連合協会	2011.09.15 ~ 2011.09.21	日中韓のユースで模擬国連会議を実施。また、文化施設訪問を通じた国際交流や意見交換の実施などにより、相互理解に努める。昨年日本で開催された第1回に引き続き、本年は中国において開催
7	日中相互訪問プロジェクト2011—現地語でつなぐ絆—	中国	日中交流学生団体 京英会 東京	2011.08.08 ~ 2011.08.22	東京外国語大学の中国語科と北京外国語大学の日本語科の学生達が相互に訪問し、各国に一週間ずつ共同生活をしながら地方見学、ディスカッション、語劇発表などを実施。また、互いの夢を語り合うなど幅広い交流を目指す相互訪問プロジェクト
8	スタディトリップ2011インジャパン	中国	アジア法学生協会 ジャパン	2011.08.30 ~ 2011.09.05	日中の学生が参加して、政治や国の枠組みに捉われない学生の強みを活かした学術・文化交流を行い、日中間の諸問題解決への道を探るとともに、強い友好関係を構築
9	京論壇2011	中国	京論壇東京大学実行委員会	2011.09.16 ~ 2011.10.09	東京大学、北京大学の学部生・院生による討論・交流プログラム。2週間寝食を共にしながら日中間における課題を話し合い、相互理解及び信頼醸成を目指すとともに、報告会等を通じて社会に発信
10	壁を越える：万里の長城での日中大学院生対話	中国	「壁を越える」：日中大学院生対話実行委員会	2011.10.08 ~ 2011.10.11	政治問題の域を越え、日中の「壁を越える」とはいかなることかを、東京大学及び清華大学の大学院生が、万里の長城に隣接する清華大施設に合宿して、文化、歴史、コミュニケーション等あらゆる側面から集中討議。両国の未来を担う次世代からのメッセージとして発信
11	地球家族のきずなを求めて—異文化・社会を考える日・モ学生対話集会	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日モ国交樹立40周年と「いっくら国際文化交流会」の創立30周年を記念し、モンゴル人文大学日本語学科の学生や、同交流会が実施したモンゴル研修事業の関係者を招へい。日本の大学生を交え、異文化理解、日本社会理解、日本の環境問題への取り組みなどを通じて各種対話事業を宇都宮と東京で実施
12	日本とモンゴルの親善の会	モンゴル	日本モンゴル親善協会	2011.08.20 ~ 2011.08.29	日本、モンゴル両国の青少年の交流を通じ、両国間における次世代の絆の構築を図る事業。モンゴルの中学生から日本に贈られた絵画(東日本大震災からの復興を応援する内容)の展示も併せて実施
13	地球家族のきずなを求めて—日・蒙学生対話集会	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2011.09.21 ~ 2011.09.28	モンゴルにおいて日本の学生のインターンシップを実施するとともに、日本、モンゴル両国の学生が相互の文化などについて議論する対話集会を通じ、相互交流・理解の深化を図る。対話集会では、参加学生が各自の専門を活かし、自然災害やエネルギー政策といった多様なテーマについてディスカッションを実施
14	日本タイ青少年空手道交流相互理解促進事業	タイ	特定非営利活動法人 一橋空手道一空会	2011.04.15 ~ 2011.09.15	日本、タイ両国の青少年が相互訪問し、日本の伝統的武道たる空手道の共同練習を通じ、心技体にわたる人格形成と礼節を重んじる精神の涵養を図ると共に、両国産業経済文化への理解と異文化交流をテーマとするワークショップ開催や語学学習指導を行う。両国の立場を踏まえ、相互理解を深耕できる国際的な知的交流の担い手を育成

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
15	第5回日本ベトナム学生会議	ベトナム	日本ベトナム学生会議	2010. 11. 01 ~ 2011. 11. 01	日本、ベトナム両国の学生間で、両国に関わる様々なテーマを元に意見交換を行い、文化的な背景を含め、互いの類似点や相違点等について理解を深めるとともに、両国の文化を紹介する「文化交流会」を実施
16	アイセック アジア太平洋地域国際会議	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人アイセック・ジャパン	2012. 03. 15 ~ 2012. 03. 22	アジア各国の学生200名を日本に集め、日本人の一般学生等と共同で、日本の復興に向けて、またアジアの連携について議論する企画を実施
17	国際森林学生連盟 第二回アジア地域会議	全世界区分困難	IFSA(国際森林学生連盟)京都大学委員会	2011. 05. 16 ~ 2011. 05. 21	国際森林学生連盟(IFSA)の加盟団体間の交流及び知識の向上を目的とした会議を開催。IFSAは、世界約50カ国の森林科学専攻の学生が、世界の森林や環境問題に関する知識の向上と国際的な視野を広げることを目的とする非営利団体である。主な対象は地理・自然環境や文化の近いアジア地域の学生
18	2011年希望と平和日本語サミット	全世界区分困難	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	2011. 06. 29 ~ 2011. 08. 02	日本と各国の架け橋となりうる、日本語での発信力の優れた青年を日本に招へいし、日本語サミットを開催。期間中には東京、大阪、広島、宮崎を訪問し、日本の学生とのディスカッション、ホームステイ、伝統文化体験等を通じて、国際融和、平和共存について深い考察をはかり、世界にメッセージを発信